Pioneer sound.vision.soul



はじめに
基本操作
テレビ
ビデオ
CD
MP3ディスク
DVD
ミュージックサーバー
TVモニター設定
音の調整
その他の機能
付録

Audio Book

7.0型ワイドTV付 DVD/CDユニット内蔵HDDナビゲーションサーバーセット **AVIC – XH9**

リモコンタイプ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	**この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。**
⚠ **注意**	**この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。**

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 **注意**	**このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。**
 **禁止**	**このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。**
 **必ず行う**	**このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。**

安全上のご注意 （別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

⚠ 警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

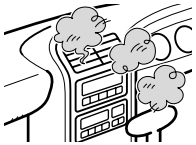
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起こりましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
ご注意	**注意マーク** 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
メモ	**メモマーク** 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
[　]	リモコンや本体などについているボタンを表します。 例：CD再生中に［AUDIO MENU］を押す
斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：*「MP3ファイルについて」（103P）を参照してください。*
つづく→	**続きマーク** 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

メモ

本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

安全のために必ずお守りください　2
安全上のご注意　3
本書の見かた　4

はじめに

リモコンの各ボタンの表記　8
再生できるディスクの種類　10
ディスクの構成について　13
ミュージックサーバーに録音する　14

基本操作

電源を入れる・切る　15
画面の切り替えかた　16
ソースを切り替える　17

テレビ

テレビの見かた　18
記憶されたチャンネルの呼び出しかた（プリセットチューニング）　19
プリセットの種類を選ぶ　19
プリセットチャンネルを順に呼び出す　20
チャンネルリストから呼び出す　20
テレビ受信に関する設定　22
「TV」メニューを開く　22
受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる（BSSM）　22
手動でチャンネルを記憶させる（マニュアルプリセット）　23
音声多重放送の副音声を聞く　25

ビデオ

ビデオを見る　26
ビデオを見られるように設定する　26
ビデオの見かた　26

CD

CDの聞きかた　27
CDのいろいろな再生のしかた　28
「CD」メニューを開く　28
リピート再生　28
ランダム再生　29
スキャン再生　29
リストから聞きたい曲を探す（トラックリスト）　30
再生を一時停止する（ポーズ）　31

MP3ディスク

MP3ディスクの聞きかた　32
MP3ディスクのいろいろな再生のしかた　34
「MP3」メニューを開く　34
リピート再生　34
ランダム再生　35
スキャン再生　36
リストから聞きたい曲を探す（トラックリスト）　37
再生を一時停止する（ポーズ）　38

DVD

DVDを見る 39
リモコンの各ボタンの表記 39
DVDの見かた 40
再生する 40
メニュー画面の操作 41
チャプターを進める/戻す 41
タイトルやチャプターを直接選ぶ（ダイレクトサーチ） 41
早送り/早戻しをする 42
再生を停止する 42
DVDのいろいろな再生のしかた 43
静止画再生 43
コマ送り再生 43
スロー再生 44
音声を切り替える（マルチ音声） 44
字幕を切り替える（マルチ字幕） 45
アングルを切り替える（マルチアングル） 45
コンディションメモリーについて 46
ダイナミックレンジコントロール（DRC） 46
情報画面で操作する 47
情報画面の表示のしかた 47
情報画面1で操作する 47
情報画面2で操作する 49
初期設定をする 50
初期設定メニューの表示のしかた 50
字幕言語を設定する（マルチ字幕） 51
音声言語を設定する 51
メニュー言語を設定する 52
アシスト字幕のオン/オフを設定する 53
アングル選択マークの表示を設定する 53
テレビアスペクト（画面の縦横比）を設定する 54
視聴制限を設定する（パレンタルロック） 55

ミュージックサーバー

ミュージックサーバーとは 57
ミュージックサーバーの聞きかた 58
リストから聞きたいプレイリストまたは曲を探す 59
ミュージックサーバーのいろいろな再生のしかた 61
「ミュージックサーバー」メニューを開く 61
リピート再生 61
ランダム再生 62
スキャン再生 63
再生を一時停止する（ポーズ） 64
ヒットチャートから再生する 65
ミュージックサーバーに録音する 69
録音についてのご注意 69
CD録音モードを設定する 69
CDの録音速度を設定する 70
CD録音の制限について 70
CD再生中に自動的に録音する 71
CDを手動で録音する 72
CDの1曲目だけを自動的に録音する 72

プレイリストの編集 73
プレイリストを作成する 73
プレイリストの情報を編集する 74
プレイリストの再生順番を変更する 77
プレイリストを消去する 77
再生しないプレイリストを設定する 78
プレイリストに曲を追加する 78
トラックの情報を編集する 79
曲の再生順番を変更する 79
ヒットチャートにリンクを付ける 80
曲を消去する 81
タイトル情報を取得する（タイトルサーチ） 82

TVモニター設定

TVモニターの設定 86
ディスプレイ設定を変更する 86
画質を調整する 87
画面の表示モードを切り替える 90

音の調整

音を調整する 94
音量を調整する 94
内蔵スピーカーの音声をON/OFFする 94
消音レベルを設定する 95
音声をFM付きカーステレオで聞く 96
FMトランスミッターのレベルを設定する 97

その他の機能

音声で操作できる機能 98
バックカメラを組み合わせる 99
リアモニターを組み合わせる 100
TVモニターの正しい使いかた 101

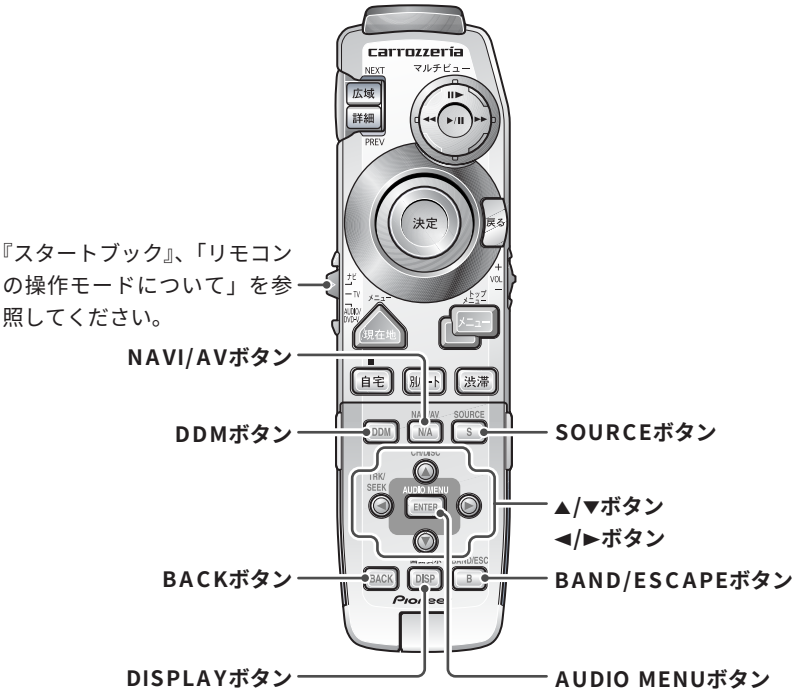
付録

MP3ファイルについて 103
MP3とは 103
再生できるMP3ファイルについて 103
フォルダとMP3ファイルについて 104
言語コード表 105
DVD用語の解説 106
MP3用語の解説 107
故障かなと思ったら 108
共通項目 108
モニター 110
DVD 111
テレビ 112
CD/MP3ディスク 113
MP3ファイル 113
ミュージックサーバー 114
こんなメッセージが表示されたら 115
共通項目 115
DVD/CD/MP3ディスク 115
ミュージックサーバー 116
索引 117
メニュー索引 117
用語索引 120

リモコンの各ボタンの表記

お手持ちのリモコンで、ボタンの位置などを確認してください。

DVDを操作する場合は、「リモコンの各ボタンの表記」（39P）を参照してください。



操作ボタン対応表

本書では、付属のリモコンとTVモニターに共通するボタンを、以下のように表記します。

付属のリモコン	TVモニターのボタン	本書での表記
―	WIDE/V.ADJUSTボタン	[WIDE]
NAVI/AVボタン	NAVI/AVボタン	[NAVI/AV]
SOURCEボタン	SOURCEボタン	[SOURCE]
▲ボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを上に倒す	[▲]
▼ボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを下に倒す	[▼]
◄ボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを左に倒す	[◄]
►ボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを右に倒す	[►]
AUDIO MENUボタン	AUDIOコントローラー/ENTERボタンを押す	[AUDIO MENU]
BACKボタン	※	[BACK]
BAND/ESCAPEボタン	BAND/ESCAPEボタン	[BAND/ESC]

※TVモニターのWIDE/V.ADJUSTボタンで、1つ前のメニュー画面に戻ることができます。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面		最大再生時間
DVDビデオ  	DVDビデオ 12cm/片面 12cm/両面 DVDビデオ 8cm/片面 8cm/両面 	 1層 2層 1層 2層 1層 2層 1層 2層	(MPEG 2方式) 133分 242分 266分 484分 (MPEG 2方式) 41分 75分 82分 150分
CD 	CD 12cm/片面		74分
	CDシングル 8cm/片面		20分

メモ

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。また、一部のDVDビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- *CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。*

メモ

- ＤＶＤオーディオやＤＶＤ-ＲＯＭなどは再生できません。本機で再生できるのは、10ページに記載されているマークの付いたディスクのみです。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクは再生できません。
- ディスククローズしていないディスク（追記可能なディスク）は再生が始まるまで時間がかかります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのＣＤ規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
②)))	音声の数
2	字幕の数
3	アングルの数
16 : 9 LB	画面サイズ (アスペクト比：横と縦の比率)の種類
② ALL	再生可能な地域番号(リージョン番号) **本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。**

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。
このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。



DOLBY DIGITAL ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

dts DIGITAL OUT DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

※本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

ディスクの構成について

DVDビデオ

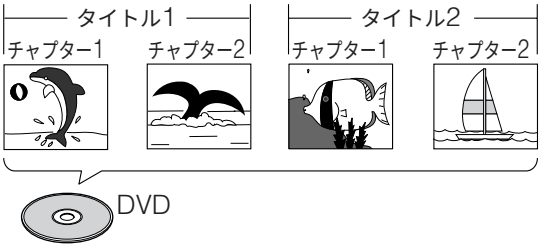
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

■ 映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

■ カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。

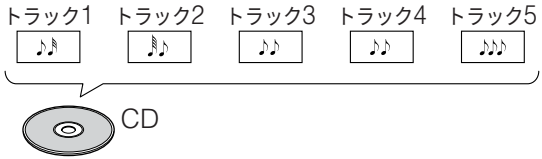


メモ

上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。
一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



ミュージックサーバーに録音する

録音についてのご注意

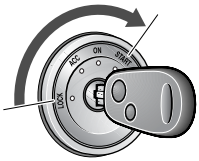
録音する前に必ずお読みください。

ご注意

- **録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。**
- **本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。**
- **お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
- **録音したものが、原音とは音質が異なる、またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。**

電源を入れる・切る

1 車のエンジンをかける



本機に電源が入り、ソース画面が表示されます。

メモ

- ナビゲーション画面に切り替えるには、［NAVI/AV］を押してください。→*「画面の切り替えかた」(次ページ)*
- 取り付け後の初めての起動では、ナビゲーションの画面が表示されるまでに数秒かかったり、途中でいったん画面が消えますが、故障ではありません。

2 TVモニターの［BACKLIGHT/POWER］をしばらく押し続ける

TVモニターの電源が切れます。

メモ

- TVモニターの電源が切れると、ナビゲーションの音声案内は出力されません。
- 車のエンジンがかかっている状態でTVモニターの電源をONにするには、［BACKLIGHT/POWER］を押してください。
- ナビゲーションの電源を切ることはできません。

画面の切り替えかた

ソース画面（DVD/CD/MP3ディスク、ミュージックサーバー、テレビ、ビデオなどのオーディオ/ビジュアル画面）とナビゲーション画面を切り替えるには、次のようにします。

1 **［NAVI/AV］を押す**

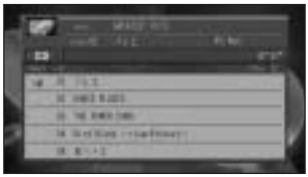
［NAVI/AV］を押すごとに、以下のように映像が切り替わります。

ナビゲーション画面



▲▼

ソース画面



メモ

ソース画面は、［SOURCE］を押して選択される画面のことです。

ソースを切り替える

CDやミュージックサーバーなどの音源、およびDVDやビデオなどの映像をソースと呼びます。
ソースを切り替えると、画面にそれぞれの状態が表示されます。

1 ［SOURCE］を押して、ソースを切り替える

［SOURCE］を押すごとに、以下のように切り替わります。

DVD/CD/MP3ディスク※1 → ミュージックサーバー → TV → VTR1※2 → VTR2※2 →



メモ

※1 DVD/CD/MP3のディスクが挿入されていない場合は、［ディスクが入っていません。］と表示されます。

※2 VTR1、VTR2に切り替えるにはビデオを見られるように設定する必要があります。
「ビデオを見られるように設定する」（26P）

ソースをOFFにする

1 ［SOURCE］をしばらく押し続ける

ソースがOFFになります。
もう一度［SOURCE］を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。

メモ

ソースをOFFにしても、ナビゲーションの音声案内は流れます。

ソースプレートを手動で表示させる

ソースプレートには、現在選択されているソース名および内容（テレビであればチャンネル、ミュージックサーバーであればトラック番号または曲名など）が表示されます。ソースプレートを表示または消去するには、以下のようにします。

1 ［DISP］を押す

ソースプレートが表示、または消去されます。



メモ

- DVDビデオ、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバーでは［BAND/ESC］を押してソースプレートを表示させることもできます。
- ソースプレートの表示は約8秒後に自動的に消えます。

テレビの見かた

テレビを見るには、以下のようにします。

1 ［SOURCE］を押して、「TV」に切り替える

ナビゲーション画面で「TV」にしたときは、音声のみ切り替わります。

2 ［NAVI/AV］を押す

テレビの映像に切り替わります。



メモ

［NAVI/AV］を押すごとに、ナビゲーション画面とテレビ画面が切り替わります。

3 ［BAND/ESC］を押して、バンドを選ぶ

バンド

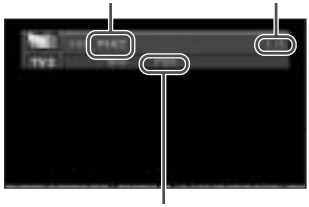


メモ

［BAND/ESC］を押すごとに、「TV1」と「TV2」が交互に切り替わります。（それぞれ12のチャンネルが用意されています。）

4 ［◄］［►］を押して、チャンネルを選局する

放送局名　現在選局中のチャンネル



ステレオ表示

［◄］	前のチャンネルを選ぶとき
［►］	次のチャンネルを選ぶとき

手動選局するには、［◄］［►］を短めに押してください。1チャンネルずつ変化します。

自動選局するには、［◄］［►］をしばらく押し続けて、ボタンから手を離してください。自動選局が始まります。（「SEEK」と表示されます。）

メモ

- 受信できるチャンネルは、1ch～62chです。
- ステレオ放送を受信すると「STEREO」が表示され、音声多重放送を受信すると「BILINGUAL」が表示されます。
- 電波の弱い地域では、テレビの映像が乱れることがあります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所では、テレビの映りが悪くなることがあります。
- 走行中にテレビの映像を見ることや一部の「オーディオメニュー」を開くことはできません。ただし、チャンネルの選局、および音声を聞くことはできます。
- 「TV1」、「TV2」にそれぞれ12局（合計24局）までチャンネルを記憶させることができます。

→「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」（22P）、「手動でチャンネルを記憶させる」（23P）

記憶されたチャンネルの呼び出しかた

あらかじめ記憶されているチャンネルを呼び出すことができます（プリセットチューニング）。
プリセットチューニングには、次の2つの方法があります。

- TVプリセットから呼び出す
- エリアプリセットから呼び出す

メモ

本機には「TV1」と「TV2」の2つのバンドがあり、各バンドでTVプリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

便利な使いかた

ふだんお使いになっている地域のチャンネルは「TV1」にTVプリセットで記憶させておきます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに、「TV2」にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになるチャンネルは「TV1」に残ったままです。

TVプリセットチャンネル

次のいずれかの方法で記憶させたチャンネルのことです。

- BSSM →*「受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる」（22P）*
- マニュアルプリセット →*「手動でチャンネルを記憶させる」（23P）*

エリアプリセットチャンネル

ナビゲーション本体があらかじめ記憶している、エリア別のチャンネルのことです。自車位置に応じたリストが自動的に選ばれます。旅行などで受信チャンネルの異なる地域に移動したときに使うと便利です。

メモ

エリアプリセットの収録放送局は、2002年12月時点での情報に基づいて収録されています。

TV放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

プリセットの種類を選ぶ

プリセットの種類の選びかたを、「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明します。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定を変更する」（86P）を参照してください。

1 **［BAND/ESC］を押して、プリセットの種類を変更するバンドを選ぶ**

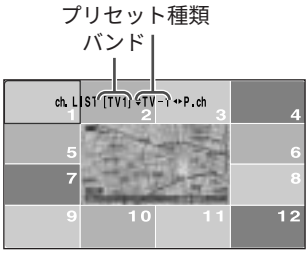
2 **［AUDIO MENU］－「TV」－［AUDIO MENU］を押す**

「TV」メニューが表示されます。

3 **「チャンネルリスト」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **［▲］［▼］を押してプリセットの種類を選び、［BAND/ESC］を押す**



つづく→

メモ

- 「マルチ設定」の設定（→*86P*）によって、表示や操作のしかたが次のように異なります。

マルチ設定	プリセット種類		手順4で使用するボタン
	TV	エリア	
「TV+NAVI」	TV-1、TV-2	AREA	[▲]、[▼]
「TV」			
「OFF」	TV1、TV2	TV1-AREA、TV2-AREA	[◀]、[▶]

- 「マルチ設定」が 「TV+NAVI」、「TV」に設定されているとき、プリセットの種類を変更すると、マルチ画面が更新されます。
- エリアプリセットは、BSSM/マニュアルプリセットでチャンネルを記憶させると解除されます。

プリセットチャンネルを順に呼び出す

TVプリセットまたはエリアプリセットから1局ずつ順番に呼び出すことによって、チャンネルを選択します。

1 **［BAND/ESC］を押して、バンドを選ぶ**

2 **［▲］［▼］を押して、チャンネルを呼び出す**



エリアプリセットの場合は「AREA-PRESET」

プリセットチャンネル（エリアプリセットでは表示されません）

［▲］	次のプリセットチャンネルを呼び出すとき
［▼］	前のプリセットチャンネルを呼び出すとき

チャンネルリストから呼び出す

TVプリセットまたはエリアプリセットのチャンネルリストから任意の局を呼び出すことによって、チャンネルを選択します。「マルチ設定」の設定（→*86P*）に応じて、以下の説明をお読みください。

- 「TV＋NAVI」または「TV」のとき
  →*「マルチ画面の場合」（次項）*
- 「OFF」のとき→*「リスト画面の場合」（次ページ）*

■マルチ画面の場合

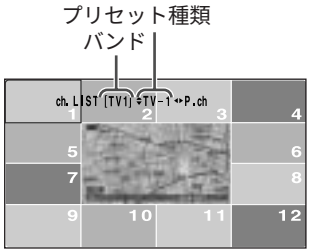
「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明します。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定を変更する」（86P）を参照してください。

メモ

マルチ画面表示中は、自動で元の画面には戻りません。

1 **プリセットの種類を選ぶ**
→前ページ



2 **［◀］［▶］を押して、見たいチャンネルを選ぶ**

緑色の枠がマルチ画面を移動し、どのチャンネルが選ばれているかを確認できます。

3 **［AUDIO MENU］を押す**

選択が確定し、枠の色が青に変わります。

メモ

- 枠の色が青でも、［◀］［▶］を押してチャンネルを選択できます。
- チャンネルを呼び出しても、環境や電波状況によっては受信できないことがあります。

4 **［DISP］を押す**

「TV」メニューから抜けます。

メモ

［BAND/ESC］を押して、「TV」メニューから抜けることもできます。

■リスト画面の場合

1 **プリセットの種類を選ぶ** *→19P*

プリセット種類



2 **［▲］［▼］を押して、見たいチャンネルを選ぶ**

3 **［AUDIO MENU］を押す**

選択が確定します。

メモ

チャンネルを呼び出しても、環境や電波状況によっては受信できないことがあります。

4 **［BAND/ESC］を押して、「TV」メニューを閉じる**

テレビ受信に関する設定

「TV」メニューでテレビ受信に関する設定（BSSM、マニュアルプリセット、音声多重設定）をします。

「TV」メニューを開く

1 テレビの画面または音声のときに［AUDIO MENU］を押す

「オーディオメニュー」が表示されます。

2 ［▲］［▼］を押して、「TV」にカーソルを合わせる

3 ［AUDIO MENU］を押す

「TV」メニューが表示されます。



メモ

- 操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

バンド（「TV1」、「TV2」）ごとにそれぞれ12局（合計24局）まで、受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させることができます（BSSM）。

メモ

BSSMとは、Best Stations Sequential Memory（ベストステーションズシーケンシャルメモリー）の略です。

1 ［BAND/ESC］を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ

2 ［AUDIO MENU］－「TV」－［AUDIO MENU］を押す

「TV」メニューが表示されます。

3 「BSSM」を選んで［AUDIO MENU］を押す



BSSM実行画面が表示されます。

4 **［▲］を押す**

BSSMが始まり、「BSSM実行中」と表示されます。



BSSMを中断するには、［▼］を押します。

▼

終了すると、チャンネルリストが表示されます。

メモ

- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ない場合は、前回記憶させたチャンネルが残ることがあります。
- 「マルチ設定」の設定（→*86P*）によって、BSSM終了後に表示される画面が異なります。

5 **［BAND/ESC］を押して、「TV」メニューを閉じる**

チャンネルの呼び出しかたについては、「記憶されたチャンネルの呼び出しかた」（19P）を参照してください。

手動でチャンネルを記憶させる

バンド（「TV1」、「TV2」）ごとにそれぞれ12局（合計24局）まで、手動でチャンネルを記憶させることができます（マニュアルプリセット）。「マルチ設定」の設定（→*86P*）に応じて、以下の説明をお読みください。

- 「TV＋NAVI」または「TV」のとき →*「マルチ画面の場合」（次項）*
- 「OFF」のとき→*「リスト画面の場合」（次ページ）*

■マルチ画面の場合

「TV+NAVI」のマルチ画面を例に説明します。

マルチ画面については、「ディスプレイ設定を変更する」（86P）を参照してください。

メモ

マルチ画面表示中は、自動で元の画面には戻りません。

1 **［BAND/ESC］を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ**

2 **［AUDIO MENU］－「TV」－［AUDIO MENU］を押す**

「TV」メニューが表示されます。

3 **「マニュアルプリセット」を選んで［AUDIO MENU］を押す**

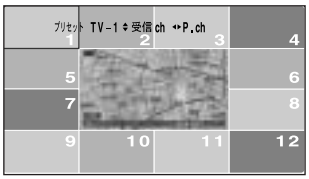


メモ

エリアプリセットの場合はメッセージが表示され、TVプリセットに切り替わります。

つづく→

4 **［◀］［▶］を押して、記憶させたいプリセットチャンネルを選ぶ**



緑色の枠がマルチ画面を移動し、どのプリセットチャンネルが選ばれているかを確認できます。

「TV」の場合

上段	P1、P2、P3、P4
中段	P5、P6、P7、P8
下段	P9、P10、P11、P12

「TV＋NAVI」の場合

上段	P1、P2、P3、P4
中上段	P5、P6
中下段	P7、P8
下段	P9、P10、P11、P12

5 **［▲］［▼］を押して、選局する**

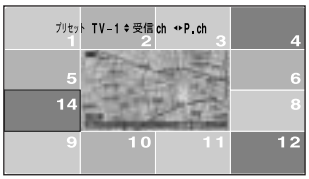
［▲］	次のチャンネルを選ぶとき
［▼］	前のチャンネルを選ぶとき

メモ

［▲］［▼］をしばらく押し続けると、受信できる放送局を自動的に探します。

6 **［AUDIO MENU］を押す**

チャンネルが記憶され、枠の色が赤に変わります。



メモ

プリセットの操作を続けるときは、手順4～6を繰り返してください。

7 **［BAND/ESC］を押して、「TV」メニューを閉じる**

チャンネルの呼び出しかたについては、「記憶されたチャンネルの呼び出しかた」（19P）を参照してください。

■リスト画面の場合

1 **［BAND/ESC］を押して、チャンネルを記憶させるバンドを選ぶ**

2 **［AUDIO MENU］－「TV」－［AUDIO MENU］を押す**

「TV」メニューが表示されます。

3 **「マニュアルプリセット」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **［▲］［▼］を押して、記憶させたいプリセットチャンネルを選ぶ**



5 **［◀］［▶］を押して、選局する**

［▶］	次のチャンネルを選ぶとき
［◀］	前のチャンネルを選ぶとき

メモ

［◄］［►］をしばらく押し続けると、受信できる放送局を自動的に探します。

6 **［AUDIO MENU］を押す**

チャンネルが記憶されます。



メモ

- プリセットの操作を続けるときは、手順4～6を繰り返してください。
- エリアプリセットの場合はメッセージが表示され、TVプリセットに切り替わります。

7 **［BAND/ESC］を押して、「TV」メニューを閉じる**

チャンネルの呼び出しかたについては、「記憶されたチャンネルの呼び出しかた」（19P）を参照してください。

音声多重放送の副音声を聞く

音声多重放送（2か国語放送など）を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えることができます。

メモ

音声多重放送には、番組の内容によって次のような種類があります。

主音声	副音声
日本語	外国語
外国語	日本語
日本語	日本語による解説

1 **［AUDIO MENU］－「TV」－［AUDIO MENU］を押す**

「TV」メニューが表示されます。

2 **「音声多重設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



音声の切り替え画面が表示されます。

3 **［◄］［►］を押して、聞きたい音声を選ぶ**



［◄］［►］を押すごとに、以下のように切り替わります。

「MAIN」→「SUB」→「MAIN + SUB」→

「MAIN」	主音声
「SUB」	副音声
「MAIN＋SUB」	主音声＋副音声

4 **［BAND/ESC］を押して、「TV」メニューを閉じる**

ビデオを見る

VTR1、VTR2に接続したポータブルビデオなどを見ることができます。

ビデオを見られるように設定する

接続したポータブルビデオなどを見られるように設定します。

メモ

初期設定では、「VTR1」、「VTR2」ともにOFFに設定されています。

1 **ソースの画面で［AUDIO MENU］を押す**

「オーディオメニュー」が表示されます。

2 **「システム設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す**

3 **「AV入力設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



AV入力設定画面が表示されます。

4 **［▲］［▼］を押して、設定する項目にカーソルを合わせる**



5 **［►］を押して、VTRを「ON」にする**

「OFF」にするには［◄］を押します。

「ON」	ビデオの映像や音声に切り替わる
「OFF」	ビデオの映像や音声に切り替わらない

6 **［BAND/ESC］を押して、「オーディオメニュー」を閉じる**

メモ

VTR1にバックカメラを接続したときは、「BACKCAMERA」を選択します。
→「バックカメラを組み合わせる」(99P)

ビデオの見かた

ビデオ映像を見るには、次のようにします。

1 **［SOURCE］を押して、「VTR1」または「VTR2」に切り替える**



メモ

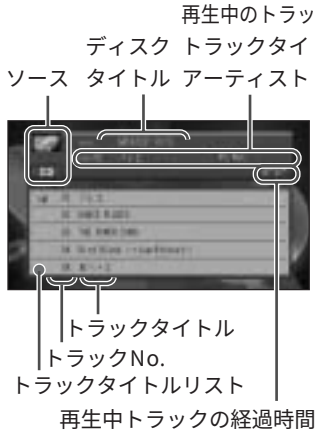
- 「AV入力設定」でVTR1、VTR2が「OFF」になっているときは、VTR1、VTR2に切り替わりません。
- 「AV入力設定」を「Back Camera」に設定していると、VTR1には切り替わりません。
- ナビゲーション画面のときに、ソースを「VTR1」または「VTR2」にすると、音声のみ切り替わります。
- ナビゲーション画面からビデオ画面に切り替えるには、［NAVI/AV］を押します。

CDの聞きかた

CDを聞くには、次のようにします。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCDを差し込む

自動的に再生が始まります。



内蔵のデータベースから情報が取得できた場合は、ソースプレートにディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示され、トラックタイトルのリストが表示されます。

	再生中のトラック
	未録音のトラック

メモ

- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 他のソースを選択中にCDを再生したいとき、すでにCDが挿入されている場合は、［SOURCE］を押してCDに切り替えます。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が複数取得できたとき、または取得できなかった場合は、［No Title］と表示されます。
- ミュージックサーバーに録音されたCDを再生する場合、ミュージックサーバーで取得または編集したタイトルが表示されます。
- ［DISP］を押して、トラックタイトルリストを消すことができます。もう一度押すと、再び表示されます。
- ミュージックサーバーの出荷時の録音モードは「オート」です。再生したCDは、自動的にミュージックサーバーに録音されます。
- 2倍速録音中は音声は聞けません。
- 曲間（トラック間）にブランクがないCDを再生すると、ミュージックサーバーに録音している場合のみ、曲間が音飛びしたように再生されますが、故障ではありません。

2 ［◄］［►］を押して、聞きたい曲を選ぶ

［◄］	前の曲を選ぶとき
［►］	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、［◄］をしばらく押し続けます。
早送りする場合は、［►］をしばらく押し続けます。

■CDの終了のしかた

1 ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押して、CDを取り出す

再生を中止して、CDが出てきます。

メモ

- 出てきたCDはすぐに取り出して保管してください。
- CDをセットしたまま、［SOURCE］を押して他のソースに切り替えることもできます。

CDのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生に加えて、リストから聞きたい曲を選んで再生したり、再生を一時停止させることができます。これらの機能は「CD」メニューから操作します。

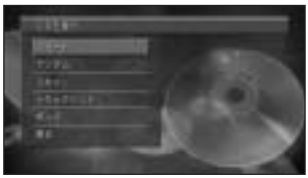
「CD」メニューを開く

1 **CD再生中に［AUDIO MENU］を押す**
「オーディオメニュー」が表示されます。

2 **［▲］［▼］を押して、「CD」にカーソルを合わせる**



3 **［AUDIO MENU］を押す**
「CD」メニューが表示されます。



メモ

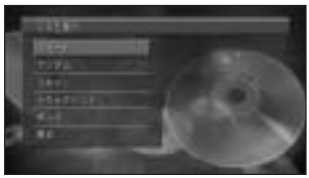
- メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

1 **［AUDIO MENU］－「CD」－［AUDIO MENU］を押す**
→前項の「「CD」メニューを開く」

2 **「リピート」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



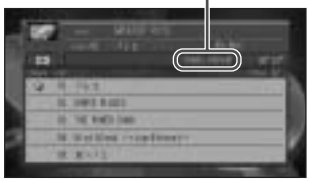
3 **［▲］を押して、「TRACK REPEAT」にする**



「OFF」にするには［▼］を押します。

4 **［BAND/ESC］を押して、「CD」メニューを閉じる**

リピート再生中の表示



メモ

リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。

- ランダム再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたい曲を探す」（30P）*
- 曲の切り替え
- 早送り/早戻し

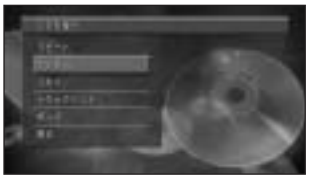
ランダム再生

再生中のCDを、曲順を変えて再生することができます。

1 **［AUDIO MENU］－「CD」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「CD」メニューを開く」（前ページ）

2 **「ランダム」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



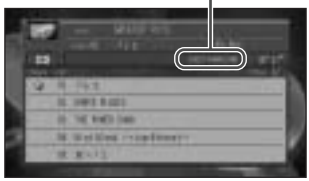
3 **［▲］を押して、「DISC RANDOM」にする**



「OFF」にするには［▼］を押します。

4 **［BAND/ESC］を押して、「CD」メニューを閉じる**

ランダム再生中の表示



メモ

ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。

- リピート再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたい曲を探す」（30P）*

スキャン再生

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

1 **［AUDIO MENU］－「CD」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「CD」メニューを開く」（前ページ）

2 **「スキャン」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



つづく→

3 [▲]を押して、「TRACK SCAN」にする

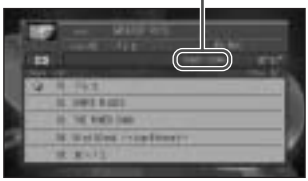


「OFF」にするには［▼］を押します。

メモ

- スキャン再生を始めてから約30秒で、通常画面に戻ります(「TRACK-SCAN」と表示されます)。
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

スキャン再生中の表示



4 聞きたい曲が再生されたら、［▼］を押して、スキャンを「OFF」にする

スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1から操作し、手順3でスキャンを「OFF」にします。

5 ［BAND/ESC］を押して、「CD」メニューを閉じる

メモ

スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。

- トラックリストからの選曲による再生→*次項の「リストから聞きたい曲を探す」*
- 曲の切り替え
- 早送り/早戻し
- ソースの切り替え
- 電源OFF（エンジンOFF）

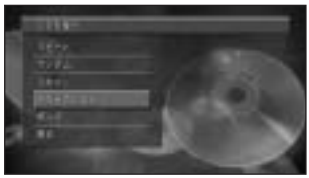
リストから聞きたい曲を探す

曲名をリスト表示して、選曲することができます（トラックリスト）。

1 ［AUDIO MENU］－「CD」－［AUDIO MENU］を押す

→*「「CD」メニューを開く」（28P）*

2 「トラックリスト」を選んで［AUDIO MENU］を押す



3 聞きたいタイトルにカーソルを合わせて、［AUDIO MENU］を押す

選んだ曲が再生され、再生中の曲に●が表示されます。

ディスクタイトル



トラックタイトル

［▲］	カーソルが上に移動する
［▼］	カーソルが下に移動する
［◀］	リスト戻し
［▶］	リスト送り

メモ

- リストは一度に6曲表示できます。前後のリストは、［◀］［▶］を押して表示させます。
- 表示中のリストの1曲目または6曲目を選択しているときに［▲］または［▼］を押すと、リストの前ページまたは次ページに送ることができます。
- タイトルは、全角で16文字（半角で32文字）まで表示できます。
- 未録音のトラックは を表示します。

4 ［BAND/ESC］を押して、「CD」メニューを閉じる

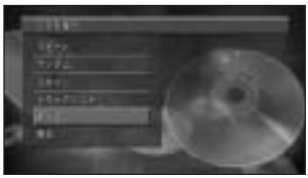
再生を一時停止する

CDの再生を一時停止します（ポーズ）。

1 ［AUDIO MENU］－「CD」－［AUDIO MENU］を押す

→「「CD」メニューを開く」（28P）

2 「ポーズ」を選んで［AUDIO MENU］を押す



3 ［▲］を押して、ポーズを「ON」にする



「OFF」にするには［▼］を押します。

4 ［BAND/ESC］を押して、「CD」メニューを閉じる



メモ

ポーズ中に以下の操作を行うと、ポーズが解除されます。

- ソースの切り替え
- 電源OFF（エンジンOFF）

MP3ディスクの聞きかた

CD-ROM/R/RWに記録されたMP3ファイルを聞くには、次のようにします。
再生できるMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」（103P）を参照してください。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCD-ROM/R/RWを差し込む

自動的に再生が始まります。



ID3 Tag（→*107P*）からタイトル情報を取得できた場合は、ソースプレートにディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示され、トラックタイトルリストには、ファイル名およびフォルダ名が表示されます。

	再生中のトラック

メモ

- 他のソースを選択中にMP3ファイルを再生したいとき、すでにMP3ファイルが記録されたCD-ROM/R/RWが挿入されている場合は、［SOURCE］を押してMP3に切り替えます。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- タイトル情報を取得できなかった場合は、MP3のフォルダ名がディスクタイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてソースプレートに表示されます。アーティストは表示されません。
- トラックタイトルリストは、ID3 Tag（→*107P*）のタイトル情報に関係なく、フォルダ名およびファイル名のリストになります。（ファイル名、フォルダ名が順番に表示されます。）
- 再生できないMP3ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。MP3ファイルを含まないフォルダは表示されません。
- フォルダに番号は付きません。フォルダマークが表示されます。
- ［DISP］を押すごとに、トラックタイトルリストの表示が次のように切り替わります。
  「通常表示」→「詳細表示」→「トラックタイトルリスト消去」→「通常表示」に戻る

2 **［▲］［▼］［◄］［►］を押して、聞きたい曲を選ぶ**

［◄］	前の曲を選ぶとき
［►］	次の曲を選ぶとき
［▲］	次のフォルダの最初の曲を選ぶとき
［▼］	前のフォルダの最初の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、［◄］をしばらく押し続けます。
早送りする場合は、［►］をしばらく押し続けます。

■MP3ディスクの終了のしかた

1 **ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押して、CD-ROM/R/RWを取り出す**

再生を中止して、CD-ROM/R/RWが出てきます。

メモ

- 出てきたCD-ROM/R/RWはすぐに取り出して保管してください。
- CD-ROM/R/RWをセットしたまま、［SOURCE］を押して他のソースに切り替えることもできます。

MP3ディスクのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生に加えて、リストから聞きたい曲を選んで再生したり、再生を一時停止させることができます。これらの機能は「MP3」メニューから操作します。

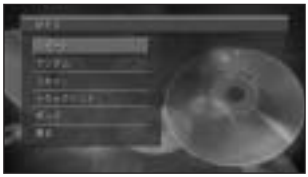
「MP3」メニューを開く

1 **MP3再生中に［AUDIO MENU］を押す**
「オーディオメニュー」が表示されます。

2 **［▲］［▼］を押して、「MP3」にカーソルを合わせる**



3 **［AUDIO MENU］を押す**
「MP3」メニューが表示されます。



メモ

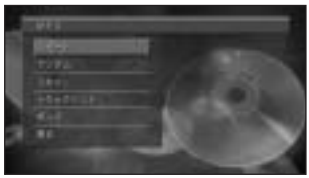
- メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

1 **［AUDIO MENU］－「MP3」－［AUDIO MENU］を押す**
→前項の「「MP3」メニューを開く」

2 **「リピート」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



3 **［▲］［▼］を押して、好みの設定を選ぶ**



［▲］［▼］を押すごとに、次のように切り替わります。

→「FOLDER REPEAT」⟷「OFF」←
→「TRACK REPEAT」←

「TRACK REPEAT」	再生中の曲をリピート再生する
「FOLDER REPEAT」	再生中の曲と同じフォルダ内にあるすべての曲をリピート再生する
「OFF」	リピート再生しない

4 ［BAND/ESC］を押して、「MP3」メニューを閉じる

リピート再生中の表示



メモ

リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。

- ランダム再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたい曲を探す」（37P）*
- フォルダの切り替え
- 曲の切り替え（「TRACK REPEAT」選択時のみ）

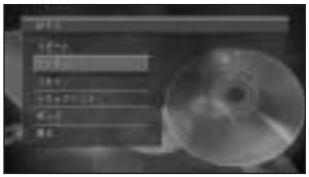
ランダム再生

再生中のMP3ファイルを、曲順を変えて再生することができます。

1 ［AUDIO MENU］－「MP3」－［AUDIO MENU］を押す

→*「「MP3」メニューを開く」（前ページ）*

2 「ランダム」を選んで［AUDIO MENU］を押す



3 ［▲］［▼］を押して、好みの設定を選ぶ



［▲］［▼］を押すごとに、次のように切り替わります。

「DISC RANDOM」⟷「OFF」
「FOLDER RANDOM」

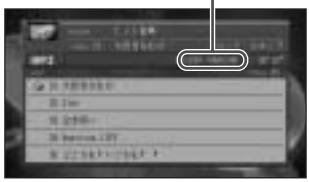
「FOLDER RANDOM」	再生中の曲と同じフォルダ内にあるすべての曲をランダム再生する
「DISC RANDOM」	ディスク内のすべての曲をランダム再生する
「OFF」	ランダム再生しない

メモ

「FOLDER RANDOM」は、再生中のフォルダ内の曲だけを再生します。フォルダ内にあるフォルダの曲は再生しません。

4 ［BAND/ESC］を押して、「MP3」メニューを閉じる

ランダム再生中の表示



メモ

ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。

- リピート再生
- スキャン再生
- トラックリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたい曲を探す」（37P）*
- フォルダの切り替え（「FOLDER RANDOM」選択時のみ）

スキャン再生

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。
聞きたい曲を探すときに使います。

1 **［AUDIO MENU］－「MP3」－［AUDIO MENU］を押す**

→*「「MP3」メニューを開く」（34P）*

2 **「スキャン」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



3 **［▲］［▼］を押して、好みの設定を選ぶ**



［▲］［▼］を押すごとに、次のように切り替わります。

「FOLDER SCAN」⟷「OFF」
「TRACK SCAN」

「TRACK SCAN」	再生中の曲と同じフォルダ内にあるすべての曲をスキャン再生する
「FOLDER SCAN」	全フォルダの先頭曲をスキャン再生する
「OFF」	スキャン再生しない

メモ

- スキャン再生を始めてから約30秒で通常画面に戻ります。
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

スキャン再生中の表示



4 **聞きたい曲が再生されたら、［▲］［▼］を押して、スキャンを「OFF」にする**

スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1から操作し、手順3でスキャンを「OFF」にします。

5 **［BAND/ESC］を押して、「MP3」メニューを閉じる**

メモ

スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。

- リピート再生
- ランダム再生
- トラックリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたい曲を探す」（次ページ）*
- 曲の切り替え
- 早送り/早戻し
- フォルダの切り替え
- ソースの切り替え
- 電源OFF（エンジンOFF）

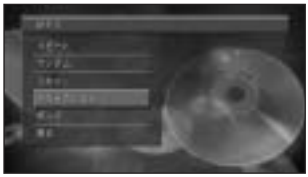
リストから聞きたい曲を探す

曲名をリスト表示して、選曲することができます（トラックリスト）。

1 **［AUDIO MENU］－「MP3」－［AUDIO MENU］を押す**

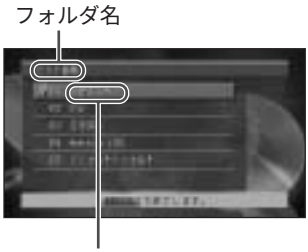
→「「MP3」メニューを開く」(34P)

2 **「トラックリスト」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



3 **聞きたいタイトルにカーソルを合わせて、［AUDIO MENU］を押す**

選んだ曲が再生され、再生中の曲に が表示されます。
フォルダを選んで［AUDIO MENU］を押すと、フォルダ内の曲のリストが表示されます。



［▲］	カーソルが上に移動する
［▼］	カーソルが下に移動する
［◄］	リスト戻し
［►］	リスト送り

メモ

- トラックリストはID3 Tag（→107P）のタイトル情報に関係なくフォルダ名、ファイル名のリストになります。
- リストは一度に6曲表示できます。前後のリストは、［◄］［►］を押して表示させます。
- 表示中のリストの1曲目または6曲目を選択しているときに［▲］または[▼]を押すと、リストの前ページまたは次ページに送ることができます。
- 再生できないMP3ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。
- MP3ファイルを含まないフォルダは表示されません。
- タイトルは、全角で16文字（半角で32文字）まで表示できます。

4 **［BAND/ESC］を押して、「MP3」メニューを閉じる**

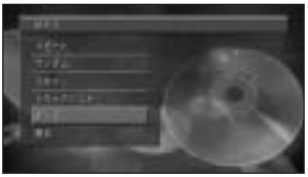
再生を一時停止する

MP3の再生を一時停止します（ポーズ）。

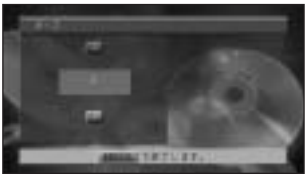
1 **［AUDIO MENU］－「MP3」－［AUDIO MENU］を押す**

→*「「MP3」メニューを開く」（34P）*

2 **「ポーズ」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



3 **［▲］を押して、「ON」にする**



「OFF」にするには［▼］を押します。

4 **［BAND/ESC］を押して、「MP3」メニューを閉じる**



メモ

ポーズ中に以下の操作を行うと、ポーズが解除されます。

- トラックリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたい曲を探す」（前ページ）*
- ソースの切り替え
- 電源OFF（エンジンOFF）

DVDを見る

リモコンの各ボタンの表記

操作手順の説明では、DVDの操作に必要な各ボタンを以下のように表しています。
お手持ちのリモコンで、ボタンの位置などを確認してください。



スケールコントローラー
チャプターを進める（NEXT）/戻す（PREV）ことができます。

ジョイスティック/［決定］

オーディオ・DVD操作モードにします。

［現在地］
メニューを表示します。

［自宅］
停止（■）します。

マルチビューコントローラー
コマ送り（II►）、早送り（►►）/早戻し（◄◄）、再生/静止画（►/II）操作ができます。

［メニュー］
トップメニューを表示します。

（開）

［オンフック/確定］
アングルを切り替えます。

［録音/削除］
字幕を切り替えます。

［オフフック/切替］
音声を切り替えます。

（閉）



［DISP］
情報画面を表示します。

DVDの見かた

再生する

DVDを再生するには、次のようにします。

1 **ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてDVDビデオディスクを差し込む**

メモ

- 両面仕様のDVDビデオディスクの場合は、A/B面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- 再生中にマルチビューコントローラー［▶/❚❚］を押すと、一時停止します。
- ナビゲーションの画面からDVDの画面に切り替えるには、［NAVI/AV］を押します。
- 他のソースを選択中にDVDを再生したいとき、すでにDVDビデオディスクが挿入されている場合は、［SOURCE］を押してDVDに切り替えます。
- DVDの録音レベルは他のソースより低いため、他のソースからDVDに切り替えると、音が小さく感じられます。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。
→*「メニュー画面の操作」(次ページ)*

■DVDの終了のしかた

1 **ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押して、DVDビデオディスクを取り出す**

再生を中止して、DVDビデオディスクが出てきます。

メモ

- 出てきたDVDビデオディスクは、すぐに取り出して保管してください。
- DVDビデオディスクをセットしたまま、［SOURCE］を押して他のソースに切り替えることができます。

メニュー画面の操作

メモ

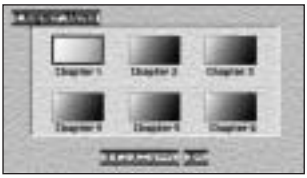
表示されるメニューや操作方法は、ディスクによって異なります。

1 **再生中に［現在地］（メニュー）または［メニュー］（トップメニュー）を押す**

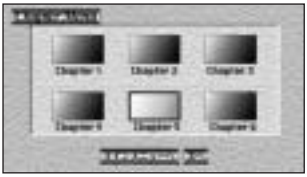
メニュー画面が表示されます。

［現在地］	ルートメニューがある場合はルートメニューを、ルートメニューがない場合はトップメニューを表示する
［メニュー］	トップメニューを表示する

チャプターメニューが表示された画面例



2 **ジョイスティックを上下左右に倒してチャプターを選ぶ**



3 **［決定］を押す**

選んだチャプターから再生されます。

チャプターを進める/戻す

1 **再生中にスケールコントローラーを「広域」（NEXT）または「詳細」（PREV）側に倒す**

タイトルNo./チャプターNo.が約8秒間表示された後、次のチャプター、またはチャプターの先頭から再生されます。

メモ

連続して2回操作すると、1つ前のチャプターの先頭に戻ります。

タイトルやチャプターを直接選ぶ

タイトルとチャプターを選ぶ操作は同じです。ただし、ディスクの操作状態によって、選択の対象が次のように変わります(ダイレクトサーチ)。

停止中	「タイトル」が選択されます。
再生中	「チャプター」が選択されます。

メモ

ディスクによっては、⃠（禁止マーク）が表示され、操作できないことがあります。

1 **見たいタイトル番号またはチャプター番号を10キーで押す**

タイトルNo.またはチャプターNo.が約8秒間表示され、指定したタイトルまたはチャプターから再生されます。

(例)

「5」を選ぶ場合：

［5］を押す。

「10」を選ぶ場合：

［+10］、［0］の順に押す。

「25」を選ぶ場合：

［+10］、［+10］、［5］の順に押す。

早送り/早戻しをする

1 **再生中にマルチビューコントローラーを右側（►►）または左側（◄◄）に倒す**

（早送りマーク）/（早戻しマーク）が表示され、ディスクを早送り/早戻しします。

マルチビューコントローラーを倒す時間によって、速度を調整できます。

倒してすぐに戻す	低速で早送り/早戻し
2秒以上倒す	高速で早送り/早戻し
5秒以上倒す（◁◁/▷▷）	ボタンから手を離しても高速の早送り/早戻しが継続する（見たい場所でマルチビューコントローラー［►/II］を押すと、その場所から再生される）



メモ

ディスクによって、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。

再生を停止する

1 **［自宅］（■）を押す**

■（停止マーク）が約4秒間表示され、停止します。



メモ

- 再生を停止した場所が記憶され、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、停止できないことがあります。

DVDのいろいろな再生のしかた

静止画再生、コマ送り再生、スロー再生、音声・字幕・アングルの切り替えができます。

静止画再生

1 再生中にマルチビューコントローラー（▶/II）を押す

（静止マーク）が約4秒間表示され、映像が一時停止します。



メモ

- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、静止画再生できないことがあります。

通常の再生に戻すには

もう一度、マルチビューコントローラー（▶/II）を押します。

コマ送り再生

1 再生中にマルチビューコントローラーを上（II▶）に倒す

倒すごとに、映像が1コマ送られます。

メモ

- コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、コマ送り再生できないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れることがあります。

通常の再生に戻すには

マルチビューコントローラー（▶/II）を押します。

スロー再生

1 **再生中にマルチビューコントローラーを上（II►）に1秒以上倒す**

■►（スロー再生マーク）が表示され、送り方向にスロー再生されます。
マルチビューコントローラーを上下に倒すごとにスロー再生の速度を4段階に調整できます。

上に倒す	早くなる
下に倒す	遅くなる



■の本数で早さを確認できます。（最も遅い速度は「■■■► 」です。「■► 」より早くすることはできません。）

メモ

- スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、スロー再生できないことがあります。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

通常の再生に戻すには

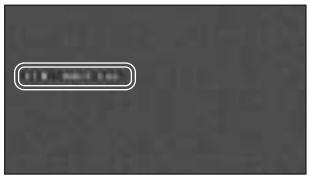
マルチビューコントローラー（►/II）を押します。

音声を切り替える

言語や異なる音声タイプ（ドルビーデジタルやDTSなど）が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます（マルチ音声）。

1 **再生中に［オフフック/切替］（音声）を押す**

音声選択マークが表示されます。



2 **［オフフック/切替］（音声）を押して、音声を切り替える**

［オフフック/切替］（音声）を押すごとに、音声が切り替わります。

メモ

- ジョイスティックを上下に倒したり、聞きたい音声番号を10キーで入力して切り替えることもできます。
- DVDのパッケージについている②))マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り替えることができない場合があります。
- DTS音声は、デジタル出力のみ対応しています。本機のデジタル出力を接続していない場合、DTS音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- 「Dolby D」や「5.1ch」などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

字幕を切り替える

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます（マルチ字幕）。

1 再生中に［録音/削除］（字幕）を押す

字幕選択マークが表示されます。



2 ［録音/削除］（字幕）を押して、字幕を切り替える

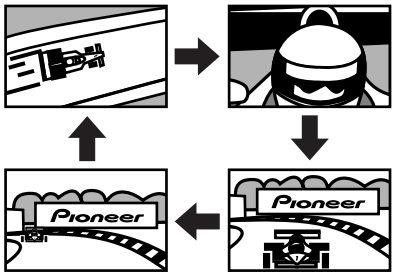
字幕選択マークが表示されている間は、字幕切り替えができます。

メモ

- 表示したい字幕言語番号を10キーで入力して切り替えることもできます。
- DVDパッケージについている 2 マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り替えることができない場合があります。
- 字幕選択マークの表示中に[#/無変]（クリアー）を押すと、字幕をOFFにすることもできます。

アングルを切り替える

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます（マルチアングル）。



メモ

マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

1 マルチアングルが収録されている場面を再生中に［オンフック/確定］（アングル）を押す



つづく→

2 **［オンフック/確定］（アングル）を押して、アングルを切り替える**

アングル選択マークとアングル番号が表示されている間は、アングル切り替えができます。

メモ

- ジョイスティックを上下に倒したり、見たいアングル番号を10キーで入力して切り替えることもできます。
- DVDパッケージについている マークの数字が、アングルの収録数です。
- 早送り/早戻し中、スロー再生中、一時停止中に［オンフック/確定］（アングル）を押すと、早送り/早戻し、スロー再生または一時停止を解除して通常再生に戻りますが、アングルは切り替わりません。
- アングル選択マークの表示のON/OFFは、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。
→*「アングル選択マークの表示を設定する」（53P）*

コンディションメモリーについて

音声や字幕などを切り替えると、それらの設定はディスクごとに本機のコンディションメモリーに記憶されます（最大30枚）。設定が記憶されていれば、前回再生時の設定内容（例えば、英語音声/日本語字幕など）で再生されます。

メモ

- 記憶できる内容は、音声言語、字幕言語、アングル番号、テレビアスペクト（画面の縦横比）、音声出力（L/R）です。
- ディスクによっては、コンディションメモリーに記憶されない場合があります。（音声言語や字幕言語は、ディスクで指定された設定になります。）
- ディスクの設定が30枚を超えて記憶されるときは、古い設定から順に削除されます。

ダイナミックレンジコントロール（DRC）

DVDの再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御（ダイナミックレンジコントロール）し、小さな音でも聞きやすくする機能です。

メモ

この設定操作をするときは、リモコンの操作モードをナビゲーション操作モードまたはテレビ操作モードに切り替えてください。（設定が終了したら、操作モードをオーディオ・DVD操作モードに戻してください。）

1 **再生中に［BAND/ESC］を押す**



［BAND/ESC］を押すごとに、ON/OFFが切り替わります。

メモ

ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

情報画面で操作する

情報画面では見たい場面を探したり、音声の出力チャンネルを切り替えるなどの、さらに進んだ使いかたができます。

情報画面の表示のしかた

1 **[DISP]（画面表示）を押す**

[DISP]（画面表示）を押すごとに、画面が以下のように切り替わります。

通常の映像画面

▼

情報画面1



▼

情報画面2



▼

通常の映像画面に戻る

メモ

早送り/早戻し中に[DISP]（画面表示）を押すと、通常再生になります。

情報画面1で操作する

情報画面1では、タイトルやチャプター、時間を指定して見たい場面をサーチしたり、音声、字幕、アングルを切り替えることができます。

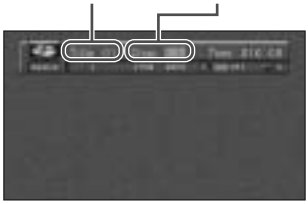
メモ

タイトルやチャプター、時間の指定は、情報画面2で操作することもできます。

■タイトル、チャプターを指定する

タイトルやチャプターを指定して見たい場面を探して再生します。

1 **情報画面1で、ジョイスティックを左右に倒して、タイトルまたはチャプターを選ぶ**



選択した項目が青色で表示されます。

2 **ジョイスティックを上下に倒して、番号を指定する**

つづく→

3 ［決定］を押す

メモ

- 情報画面を表示せずに、直接指定することもできます。
  →*「タイトルやチャプターを直接選ぶ」（41P）*
- メニューのあるディスクでは、［メニュー］（トップメニュー）または［現在地］（メニュー）を押して、メニュー画面から選ぶこともできます。
- ディスクによっては、⃠（禁止マーク）が表示され、タイトルやチャプターを指定できないことがあります。
- 停止中のチャプター指定はできません。
- 手順2で番号を指定してから約8秒以内に［決定］を押さないと、指定した番号は無効となります。

■時間を指定する

時間を指定して、その時間から再生することができます（タイムサーチ）。

1 情報画面1で、ジョイスティックを左右に倒して、タイムを選ぶ



選択した項目が青色で表示されます。

2 時間を10キーで入力する

メモ

- 入力形式は「mmss」（分：2桁、秒：2桁）です。「時間」が含まれる場合は、1時間を60分として「分」に変換してから「分」に加算してください。指定できる最大時間は、999分59秒です。

  （例）「23分21秒」を入力する場合：

  ［2］、［3］、［2］、［1］の順に押す。

  「1時間18分」を入力する場合：

  ［7］、［8］、［0］、［0］の順に押す。
- 入力した番号を削除する場合は、［#/無変］（クリアー）を押します。

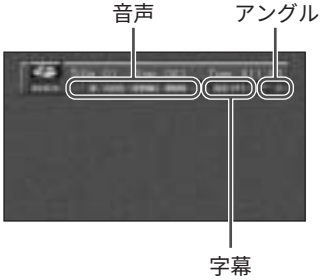
3 ［決定］を押す

- ディスクによっては、⃠（禁止マーク）が表示され、時間指定できないことがあります。
- 停止中は時間指定できません。
- 手順2で時間を指定してから約8秒以内に［決定］を押さないと、指定した時間は無効となります。

■音声、字幕、アングルを切り替える

複数の音声（マルチ音声）、複数の字幕（マルチ字幕）、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクの場合、これらを切り替えることができます。

1 情報画面1で、ジョイスティックを左右に倒して、音声、字幕、アングルのいずれかを選ぶ



選択した項目が青色で表示されます。

メモ

［オフフック/切替］（音声）、［録音/削除］（字幕）、［オンフック/確定］（アングル）を押して選ぶこともできます。

2 ジョイスティックを上下に倒して希望の設定にする

メモ

- 切り替わる数は、DVDに収録されている数により異なります。
- 音声、字幕、アングルは、再生中に［オフフック/切替］（音声）、［録音/削除］（字幕）、［オンフック/確定］（アングル）、10キーで切り替えることもできます。
  →*「音声を切り替える」（44P）*、*「字幕を切り替える」（45P）*、*「アングルを切り替える」（45P）*
- 「Dolby D」や「5.1ch」などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

情報画面2で操作する

情報画面2では、リピート範囲や音声の出力チャンネルを設定することができます。

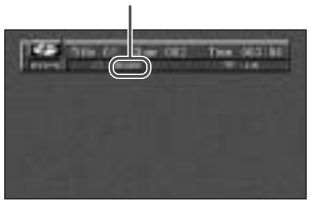
メモ

タイトルやチャプター、時間を指定することもできます。

■リピート再生の範囲を設定する

繰り返し再生する範囲をディスク、タイトル、チャプターから選択することができます。

1 情報画面2で、ジョイスティックを左右に倒して、リピート範囲を選ぶ



選択した項目が青色で表示されます。

2 ジョイスティックを上下に倒して希望の設定にする

リピート範囲は次のように切り替わります。

「Title」(タイトル)←→「Disc」(ディスク)←→「Chapter」(チャプター)←

メモ

- 「Disc」を選択した場合、ディスクが最後まで再生されると、メニュー表示または停止します。
- ディスクまたは再生位置によっては、⃠（禁止マーク）が表示され、リピート範囲を設定できないことがあります。

初期設定をする

DVD機能をあらかじめお好みの状態にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える煩わしさがありません。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- アシスト字幕
- 字幕言語
- 音声言語
- メニュー言語
- 視聴制限（パレンタルロック）
- テレビアスペクト（画面の縦横比）
- アングル選択マークの表示

初期設定メニューの表示のしかた

1 **［自宅］（■）を押して、再生を停止する**

2 **［現在地］（メニュー）を押す**

初期設定メニューの画面が表示されます。



3 **「言語」または「映像」が選ばれているときに、ジョイスティックを左右に倒す**

選ばれると、青色で表示されます。



「言語」と「映像」のメニューが切り替わります。

メモ

- 元の画面に戻るには、初期設定メニュー表示中に［現在地］（メニュー）を押します。
- 次ページ（2/2）を表示するには、ジョイスティックを右に倒します。
- 前ページ（1/2）に戻るには、ジョイスティックを左に倒します。
- 初期設定メニューは、設定項目ごとに画面が切り替わります。別の項目を設定する場合は、［戻る］を押して、1つ前の画面に戻ります。
- メニュー画面右下の「RTN」を選ぶと、前ページが表示されます。

字幕言語を設定する

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます（マルチ字幕）。

メモ

出荷時の設定は「日本語」です。

1 **[自宅]（■）－[現在地]（メニュー）を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」（前ページ）*

2 **ジョイスティックを上下に倒して、「基本字幕」を選んで［決定］を押す**



基本字幕設定画面が表示されます。

3 **ジョイスティックを上下に倒して、優先して表示させたい言語を選ぶ**



現在設定されている言語は枠で囲まれ、選択した言語は青色で表示されます。

4 **[決定]を押す**

字幕言語が設定されます。

メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている字幕言語が表示されます。
- この設定にかかわらず、再生中に［録音/削除］（字幕）を押すと、字幕言語を切り替えることができます。

「その他」を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」（105P）から、4桁の言語コードを10キーで入力して、［決定］を押します。

メモ

入力した番号を削除するには、［#/変換］（クリアー）を押します。

音声言語を設定する

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます（マルチ音声）。

メモ

出荷時の設定は「日本語」です。

1 **[自宅]（■）－[現在地]（メニュー）を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」（前ページ）*

2 **ジョイスティックを上下に倒して、「基本音声」を選んで［決定］を押す**



基本音声設定画面が表示されます。

つづく→

3 **ジョイスティックを上下に倒して、優先して聞きたい言語を選ぶ**



現在設定されている言語は枠で囲まれ、選択した言語は青色で表示されます。

4 **[決定]を押す**

音声言語が設定されます。

メモ

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている音声言語が聞こえます。
- この設定にかかわらず、再生中に［オフフック/切替］（音声）を押すと、音声言語を切り替えることができます。

「その他」を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」（*105P*）から、4桁の言語コードを10キーで入力して、［決定］を押します。

メモ

入力した番号を削除するには、［#/変換］（クリアー）を押します。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。

メモ

出荷時の設定は「日本語」です。

1 **［自宅］（■）－［現在地］（メニュー）を押す**

→「*初期設定メニューの表示のしかた*」（*50P*）

2 **ジョイスティックを上下に倒して、「メニュー言語」を選んで［決定］を押す**



メニュー言語設定画面が表示されます。

3 **ジョイスティックを上下に倒して、優先して表示させたい言語を選ぶ**



現在設定されている言語は枠で囲まれ、選択した言語は青色で表示されます。

4 **[決定]を押す**

メニュー言語が設定されます。

メモ

選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。

「その他」を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」（105P）から、4桁の言語コードを10キーで入力して、［決定］を押します。

メモ

入力した番号を削除するには、［#/変換］（クリアー）を押します。

アシスト字幕のオン/オフを設定する

メモ

- 出荷時の設定は「オン」です。
- アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

1 **［自宅］（■）－［現在地］（メニュー）を押す**

→「初期設定メニューの表示のしかた」（50P）

2 **ジョイスティックを上下に倒して、「アシスト字幕」を選ぶ**



選択した項目が青色で表示されます。

3 **［決定］を押す**

ボタンを押すごとに、アシスト字幕のオン/オフが切り替わります。

アングル選択マークの表示を設定する

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークのON/OFF（表示/非表示）を設定することができます。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。
- 出荷時の設定は「オン」（アングル選択マークを表示する）です。

1 **［自宅］（■）－［現在地］（メニュー）を押す**

→「初期設定メニューの表示のしかた」（50P）

2 **ジョイスティックを右に倒して、「映像」メニューを表示させる**

3 **ジョイスティックを上下に倒して、「マルチアングル」を選んで［決定］を押す**



アングル設定画面が表示されます。

4 **［決定］を押す**

マルチアングルのオン/オフが切り替わります。

テレビアスペクト（画面の縦横比）を設定する

お使いのリアモニターに合わせて正しく設定してください。

メモ

- 本製品のTVモニターはワイドモニターですが、リアモニター出力に接続されたモニターでDVDをご覧になるときは、接続されたモニターに合わせてテレビアスペクトを設定してください。
  ただし、設定したテレビアスペクトによっては、本製品のTVモニターには意図した画像が表示されないことがあります。
- 出荷時の設定は「16：9」です。

1 ［自宅］（■）－［現在地］（メニュー）を押す

→*「初期設定メニューの表示のしかた」（50P）*

2 ジョイスティックを右に倒して、「映像」メニューを表示させる

3 ジョイスティックを上下に倒して、「テレビアスペクト」を選んで［決定］を押す



テレビアスペクト設定画面が表示されます。

4 ジョイスティックを上下に倒して、希望のテレビアスペクトを選ぶ

「16：9」	ワイドモニター使用時に選択する
「レターボックス」	ノーマルモニター使用時に選択する。ディスクに収録されている映像が16：9のときは、レターボックス（上下に黒い帯のある画面）になる
「パンスキャン」	ノーマルモニター使用時に選択する。ディスクに収録されている映像が16：9のときは、パンスキャン（左右の切れた画面）になる



現在設定されているテレビアスペクトは枠で囲まれ、選択したテレビアスペクトは青色で表示されます。

5 ［決定］を押す

選んだテレビアスペクトが設定されます。

メモ

- ノーマルモニターをお使いのときは、「レターボックス」、「パンスキャン」のいずれかに設定してください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「パンスキャン」に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで 16:9 PS マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

- 最初にご使用になるときは、暗証番号を設定してください。視聴制限は、暗証番号が設定されないと操作できません。
- 出荷時の設定は「レベル8」です。
- 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しい暗証番号を入力しないと再生できません。暗証番号の入力画面を解除するには、［戻る］を押してください。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

■暗証番号と視聴制限レベルの設定

1 **［自宅］（■）－［現在地］（メニュー）を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」（50P）*

2 **ジョイスティックを右に倒して、「映像」メニューを表示させる**

3 **ジョイスティックを上下に倒して、「視聴制限設定」を選んで［決定］を押す**



視聴制限設定画面が表示されます。

4 **10キーで、4桁の暗証番号を入力する**



設定した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

5 **［決定］を押す**

暗証番号が設定され、視聴制限レベルの設定が可能になります。

6 **ジョイスティックを左右に倒して、レベルを選ぶ**

レベル8	ディスクをすべて再生する
レベル7～2	成人向けディスクの再生を禁止する（子供向けや一般向けディスクを再生する）
レベル1	子供向けのディスクのみ再生する



つづく→

7 **［決定］を押す**
視聴制限のレベルが設定されます。

■レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルは変更することができます。

1 **［自宅］（■）－［現在地］（メニュー）を押す**
→*「初期設定メニューの表示のしかた」（50P）*

2 **ジョイスティックを右に倒して、「映像」メニューを表示させる**

3 **ジョイスティックを上下に倒して、「視聴制限設定」を選んで［決定］を押す**



視聴制限設定画面が表示されます。

4 **10キーで、登録してある暗証番号を入力する**



5 **［決定］を押す**
視聴制限レベルの変更が可能になります。

メモ

入力した暗証番号が間違っていると、⃠（禁止マーク）が表示されます。この場合は、[#/変換（クリアー）]を押して、正しい番号を入力し直してください。
暗証番号を忘れた場合は、次項の「暗証番号を忘れたときは」を参照してください。

6 **ジョイスティックを左右に倒して、レベルを選ぶ**



7 **［決定］を押す**
変更した視聴制限のレベルが設定されます。

■暗証番号を忘れたときは

「暗証番号と視聴制限レベルの設定」（前ページ）の手順3で［#/変換］（クリアー）を10回押すと、暗証番号が解除されます。
その後、手順3～4に従い、新しい暗証番号を設定します。

ミュージックサーバーとは

CDを本機のハードディスクに録音して、いろいろな方法で再生できる機能です。

ミュージックサーバーには、さらに次の機能があります。

- PCカード内のMP3ファイルの再生
- 録音時に自動作成されるオリジナルプレイリストによる再生
- お好みで作成できるユーザープレイリストによる再生
- ヒットチャート情報をベースにしたプレイリストを自動作成、年別のヒット曲を再生

メモ

- CDを録音する方法は選択できます。
  →*「CD録音モードを設定する」（69P）*
- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストは、リスト名の頭に付くアイコンで確認できます。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト名の頭に（「Original」の頭文字）が表示される
ユーザープレイリスト	プレイリスト名の頭に（「User」の頭文字）が表示される

- DVDの音声は録音できません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-R、PCカードなど）から、ミュージックサーバーに録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。
- ユーザープレイリストを作成することができます。
  →*「プレイリストを作成する」（73P）*

ミュージックサーバーの聞きかた

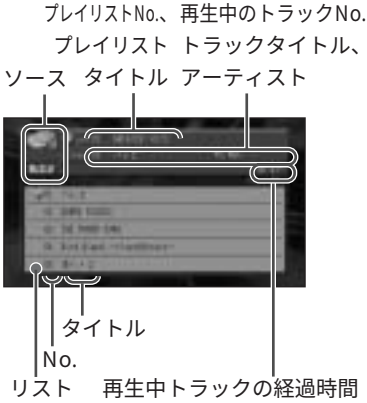
登録されている全プレイリスト内の曲、または音声が再生されます。

再生できるPCカード内のMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」（103P）を参照してください。

メモ

- 全てのプレイリストが繰り返し再生されます。（小さいNo.のプレイリストより順に再生され、最後のプレイリストの再生が終わると最初のプレイリストに戻り、再生を始めます。）
- 再生順序の変更やプレイリストごとに再生するかどうかを設定することができます。→*「プレイリストの再生順番を変更する」（77P）、「再生しないプレイリストを設定する」（78P）*
- CDを録音中にミュージックサーバーに切り替えても、ミュージックサーバーは再生できません。CDの音声をお楽しみください。（2倍速録音中は、音声は出力されません。）

1 ［SOURCE］を押して、ミュージックサーバーに切り替える



	再生中のプレイリストまたはトラック

2 ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して、聞きたい曲を選ぶ

［▲］	次のプレイリストを選ぶとき
［▼］	前のプレイリストを選ぶとき
［◀］	プレイリスト内で前の曲を選ぶとき
［▶］	プレイリスト内で次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、［◀］をしばらく押し続けます。
早送りする場合は、［▶］をしばらく押し続けます。

メモ

- リストでは、プレイリストまたはトラック情報を表示させることができます。［オフフック/切替］を押すごとにプレイリストとトラックが切り替わります。
- ［DISP］を押すごとに、リストの表示が次のように切り替わります。「通常表示」→「詳細表示」→「リスト消去」→「壁紙」（右下にタイトル名/アーティスト名）→「通常表示」に戻る

PCカード内のMP3ファイルについて

- フォルダがたくさんあるPCカードは、再生が始まるまで時間がかかります。
- プレイリストの最後に「PC-CARD」が表示されます。
- 各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。
- ID3 Tag（*→107P*）からタイトル情報を取得できた場合は、ソースプレートにトラックタイトルが表示されます。取得できなかった場合は、ファイル名が表示されます。
- 再生中にPCカードを抜くとハードディスク内の先頭のプレイリストを再生します。ハードディスク内にプレイリストがない場合は、再生が停止します。
- 再生の順番はMP3ファイルの作成日時の古い順になります。パソコンでPCカードに複数のファイルをまとめてコピーしたり、フォルダごとコピーした場合は、パソコンのファイルシステムに依存します。

■ミュージックサーバーの終了のしかた

1 **［SOURCE］を押して他のソースに切り替えるか、「OFF」と表示されるまで［SOURCE］を押し続ける**

ミュージックサーバーの再生が停止します。

リストから聞きたいプレイリストまたは曲を探す

リストから聞きたいプレイリストまたは曲を選択して再生することができます。

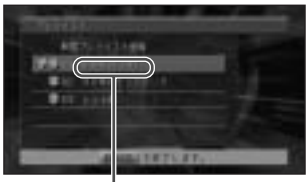
1 **［AUDIO　MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO　MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **「プレイリスト」を選んで［AUDIO　MENU］を押す**



3 **［▲］［▼］で聞きたい曲が登録されているプレイリストを選んで［AUDIO　MENU］を押す**



プレイリストタイトル

メモ

再生不許可が設定されているプレイリストには、🔊が表示されます。

→「再生しないプレイリストを設定する」（78P）

つづく→

4 「トラック選択」を選んで［AUDIO　MENU］を押す



「再生」を選んで[AUDIO MENU]を押すと、選んだプレイリストを再生します。

5 聞きたい曲を選んで［AUDIO MENU］を押す



トラックタイトル

6 「再生」を選んで［AUDIO MENU］を押す



選んだ曲が再生され、再生中の曲に が表示されます。

ミュージックサーバーのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、再生の一時停止、ヒットチャート再生ができます。これらの機能は「ミュージックサーバー」メニューから操作します。

「ミュージックサーバー」メニューを開く

1 **［SOURCE］を押して、ミュージックサーバーに切り替える**

2 **［AUDIO MENU］を押す**
「オーディオメニュー」が表示されます。

3 **［▲］［▼］を押して、「ミュージックサーバー」にカーソルを合わせる**



4 **［AUDIO MENU］を押す**
「ミュージックサーバー」メニューが表示されます。



メモ

- メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

リピート再生

再生中の曲、またはその曲を含むプレイリスト内のすべての曲を繰り返し聞くことができます。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］を押す**
→前項の「「ミュージックサーバー」メニューを開く」

2 **「リピート」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



つづく→

3 ［▲］［▼］を押して、リピート再生の方法を選ぶ



［▲］［▼］を押すごとに、次のように切り替わります。

→「PLAYLIST REPEAT」↔「OFF」←
　　→「TRACK REPEAT」←

「TRACK REPEAT」	再生中の曲をリピート再生する
「PLAYLIST REPEAT」	再生中の曲を含むプレイリスト内のすべての曲をリピート再生する
「OFF」	リピート再生しない

メモ

ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたリピート再生をします。（「CHART REPEAT」）

4 ［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる

リピート再生中の表示



メモ

リピート再生中に以下の操作を行うと、リピート再生が中止されます。

- ランダム再生
- スキャン再生
- プレイリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたいプレイリストまたは曲を探す」（59P）*
- プレイリストの切り替え
- 曲の切り替え（「TRACK REPEAT」選択時のみ）

ランダム再生

再生中のプレイリスト内の曲順、またはプレイリストの順番とリスト内の曲順を変えて再生することができます。

1 ［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］を押す

→*「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（前ページ）*

2 「ランダム」を選んで［AUDIO MENU］を押す



3 ［▲］［▼］を押して、ランダム再生の方法を選ぶ



［▲］［▼］を押すごとに、次のように切り替わります。

→「ALL RANDOM」⟷「OFF」←
→「PLAYLIST RANDOM」←

「PLAYLIST RANDOM」	再生中のプレイリスト内からランダム再生される（他のプレイリストは選ばれない）
「ALL RANDOM」	ハードディスク内のすべての曲を対象にランダム再生する
「OFF」	ランダム再生しない

メモ

- ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたランダム再生をします（「CHART RANDOM」）。
- 「ALL RANDOM」には切り替わりません。

4 ［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる

ランダム再生中の表示



メモ

ランダム再生中に以下の操作を行うと、ランダム再生が中止されます。

- リピート再生
- スキャン再生
- プレイリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたいプレイリストまたは曲を探す」（59P）*
- プレイリストの切り替え

スキャン再生

再生中のプレイリスト内の曲、または全プレイリスト内の先頭曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

1 ［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］を押す

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 「スキャン」を選んで［AUDIO MENU］を押す



つづく→

3 **［▲］［▼］を押して、スキャン再生の方法を選ぶ**



［▲］［▼］を押すごとに、次のように切り替わります。

→「OFF」↔「TRACK SCAN」←
→「PLAYLIST SCAN」←

「TRACK SCAN」	再生中のプレイリスト内のすべての曲をスキャン再生する
「PLAYLIST SCAN」	全プレイリスト内の先頭曲をスキャン再生する
「OFF」	スキャン再生しない

メモ

- スキャン再生を始めてから約30秒で通常画面に戻ります。
- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたスキャン再生を行うため、「PLAYLIST SCAN」には切り替わりません。

4 **聞きたい曲が再生されたら、［▲］［▼］を押して、スキャンを「OFF」にする**

スキャン設定画面が表示されていない場合は、手順1から操作し、手順3でスキャンを「OFF」にします。

5 **［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる**

メモ

スキャン再生中に以下の操作を行うと、スキャン再生が中止されます。

- リピート再生
- ランダム再生
- プレイリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたいプレイリストまたは曲を探す」（59P）*
- 曲の切り替え
- 早送り/早戻し
- プレイリストの切り替え
- ソースの切り替え
- 電源OFF（エンジンOFF）

再生を一時停止する

ミュージックサーバーの再生を一時停止します（ポーズ）。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **「ポーズ」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



3 **［▲］を押して、「ON」にする**



「OFF」にするには［▼］を押します。

4 ［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる

ポーズ中の表示



メモ

ポーズ中に以下の操作を行うと、ポーズが解除されます。

- プレイリストからの選曲による再生→*「リストから聞きたいプレイリストまたは曲を探す」（59P）*
- 電源OFF（エンジンOFF）

ヒットチャートから再生する

本機ハードディスク内、またはインターネットから取得したヒットチャート※をもとに録音されている曲を再生、またはヒットチャート※を見ることができます。

チャートの種類および順位

- **ヒットチャートプレイ**（再生できます）
  年別のヒット曲：1993年～最新年度の最大100位までの年間チャート、タイアップ別チャート
  最近のヒット曲：3か月前までの発売日順のリスト（100曲まで）
- **最新週間チャート**（再生できません）
  3週間前までの30位
- **最新月間チャート**（再生できません）
  3か月前までの50位

※ヒットチャートはオリコンヒットチャートをもとに作成されています。

ヒットチャートのインターネットのデータベースへのアクセスは、2005年3月までご利用できます。

■ヒットチャート再生

本機ハードディスク内、またはインターネットから取得したヒットチャートをもとに、録音されている曲を再生することができます（ヒットチャートプレイ）。

メモ

- インターネットから取得したヒットチャート情報（年間チャート、最近のヒット曲、月間チャート3か月分、週間チャート3か月分）はハードディスクに保存されます。
- インターネットから取得するには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。
- インターネットから取得するときに携帯電話が接続されていないと、「携帯の接続を確認してください。」のメッセージが表示され、取得できません。
- インターネットから取得するときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「携帯電話が使用中です。」のメッセージが表示され、取得はできません。
- ヒットチャートプレイはヒットチャートリンク情報が取得済みの曲のみ有効です。*リンクを付けるには、「ヒットチャートにリンクを付ける」（80P）を参照してください。*
- ヒットチャートリンク情報が取得済みであれば、タイトルを編集した曲でもヒットチャートプレイができます。
- 1タイトルのヒット曲に対して複数のリンク対象となる曲が録音されている場合、ヒットチャートリンク情報をもとに複数あるリンク対象曲から1曲を再生します。任意の曲を再生したい場合は、現在再生している曲を消去してください。

つづく→

1 **[AUDIO MENU] − [ミュージックサーバー] − [AUDIO MENU]を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **「ヒットチャートサーバー」を選んで[AUDIO MENU]を押す**



3 **「ヒットチャートプレイ」を選んで[AUDIO MENU]を押す**



4 **[▲] [▼] を押して、年度を選んで[AUDIO MENU]を押す**



再生できる曲がある場合は、■が表示されます。

メモ

「最近のヒット曲」または取得済みの「最近のヒット曲」の期限が切れている、取得されていないチャートがある年度を選択した場合は、通信で取得するための確認画面になります。[AUDIO MENU]を押すと通信で取得します。

5 **[▲] [▼] を押して、チャートを選んで[AUDIO MENU]を押す**

チャート画面が表示されます。



再生できる曲がある場合は、■が表示されます。

メモ

「チャート情報を更新」を選んで[AUDIO MENU]を押すと、通信でチャート情報（売上枚数など）が更新されます。

6 **[▲] [▼] を押して、お好みの曲を選んで[AUDIO MENU]を押す**



再生できる曲は、■が表示されます。

7 **「このチャートを再生」または「この曲から再生」を選んで[AUDIO MENU]を押す**



「このチャートを再生」	選んだチャートが再生されます。
「この曲から再生」	選んだ曲からチャートが再生されます。

メモ

- 選んだ曲またはチャート内の1曲でも録音されていない場合は、選ぶことはできません。
- 「チャート情報」を選んで[AUDIO MENU]を押すと、選んだ曲のチャート情報を見ることができます。→*「チャート情報画面」(68P)*
- 「ディスク情報」を選んで[AUDIO MENU]を押すと、選んだ曲のディスク情報を見ることができます。→*「ディスク情報画面」(68P)*

8 [BAND/ESC]を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる

ヒットチャート再生画面

ヒットチャート再生画面は、チャート種別、順位（「最近のヒット曲」、タイアップチャートは除く）、トラックタイトル、アーティスト名、チャート再生順を表示します。また、リスト総数を表示します。



再生できる曲は、■が表示されます。

[オフフック/切替]を押すと、チャートの再生順が、カウントダウンまたはカウントアップに切り替わります。

■最新のヒットチャートを見る

インターネットから取得し、最新の週間、月間ヒットチャートを見ることができます。

メモ

- 通信で取得するときに携帯電話が接続されていないと、「携帯の接続を確認してください。」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- 通信で取得するときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「携帯電話が使用中です。」のメッセージが表示され、取得はできません。

1 [AUDIO MENU] − [ミュージックサーバー] − [AUDIO MENU]を押す

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」(61P)

2 「ヒットチャートサーバー」を選んで[AUDIO MENU]を押す

3 「最新週間チャートを見る」または「最新月間チャートを見る」を選んで[AUDIO MENU]を押す



▼

最新チャート画面が表示されます。



[オフフック/切替]を押すと、別の週または月のチャートを見ることができます。

メモ

- 曲を選んで[AUDIO MENU]を押すと、「チャート情報」、「ディスク情報」を選ぶことができます。
- 「チャート情報」を選んで[AUDIO MENU]を押すと、選んだ曲のチャート情報を見ることができます。→*「チャート情報画面」(次項)*
- 「ディスク情報」を選んで[AUDIO MENU]を押すと、選んだ曲のディスク情報を見ることができます。→*「ディスク情報画面」(次項)*

チャート情報画面

チャート情報画面では、「チャート情報」または最新チャート画面から曲を選び、表示させることができます。



[◀] [▶]を押すと、次ページ、前ページを見ることができます。

ディスク情報画面

ディスク情報画面では、「ディスク情報」または最新チャート画面から曲を選び、表示させることができます。



CDの品番、発売元、価格が表示されます。

■ヒットチャート再生を中止する

1 **[AUDIO MENU] − [ミュージックサーバー] − [AUDIO MENU]を押す**

→*「「ミュージックサーバー」メニューを開く」(61P)*

2 **「ヒットチャートサーバー」を選んで[AUDIO MENU]を押す**

3 **「ヒットチャートプレイを中止する」を選んで[AUDIO MENU]を押す**



ミュージックサーバーに録音する

録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

ご注意

- **録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。**
- **本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。**
- **お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
- **録音したものが、原音とは音質が異なる、またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。**

CD録音モードを設定する

CDの録音モードをオート、マニュアル、シングルのいずれかに設定します。

→「CD再生中に自動的に録音する」(71P)、「CDを手動で録音する」(72P)、「CDの1曲目だけを自動的に録音する」(72P)

1 **[AUDIO MENU]－「ミュージックサーバー」－[AUDIO MENU]を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」(61P)

2 **「録音設定」を選んで[AUDIO MENU]を押す**



3 **「CD録音モード」を選んで[AUDIO MENU]を押す**



4 **[▲][▼]を押して、録音モードを設定する**



「オート」	CDを再生すると、自動的にミュージックサーバーに録音される
「マニュアル」	CDを再生し、ボタンを操作してミュージックサーバーに録音する
「シングル」	CDの1曲目だけが自動的にミュージックサーバーに録音される

5 **[BAND/ESC]を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる**

CDの録音速度を設定する

CDの録音速度を等倍速（x1）か2倍速（x2）にして録音することができます。
2倍速での録音中は、CDの音声を聞くことはできません。

1 **[AUDIO MENU] − [ミュージックサーバー] − [AUDIO MENU]を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **「録音設定」を選んで[AUDIO MENU]を押す**

3 **「録音速度」を選んで[AUDIO MENU]を押す**



4 **[▲]［▼]を押して、録音速度を設定する**



等倍速録音は「x1」、2倍速録音は「x2」です。

5 **[BAND/ESC]を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる**

CD録音の制限について

■すべてのモード

- CD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。［録音/削除］を押すと、録音を停止します。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 音飛びのエラーを検出した場合は、メッセージを表示します。
- 音飛びしてエラーが検出された場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。同じ曲の同じ箇所で再度エラーが検出された場合は、等倍速（×1）ではそのまま録音します。2倍速（×2）では次のトラックに送られます。
- 曲間（トラック間）にブランクがないCDを録音すると、曲間が音飛びしたように録音されます。
- ミュージックサーバーの録音可能時間（ハードディスク容量）がCDの演奏時間より短い場合は、録音できません。（録音機能は働きません。）
- 2倍速録音中はCDの音声は聞くことができません。録音終了後、確認操作をするか、一度CD以外のソースを選択すると、聞くことができます。
- 2倍速録音中は早送り/早戻しはできません。
- 2倍速録音中は、すでに録音済みの曲は再生せず、録音されていない曲を探して録音します。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-R、PCカードなど）から、ミュージックサーバーに録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。

■オート/シングルモード

- すでに録音済みの曲は、同じCDから重複して録音できません。
- エンジンをOFFにすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンをONにすると、エンジンをOFFにしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- CDを取り出すと、録音中の曲が消去されます。
- 選曲/早送り/早戻しすると、録音中の曲が消去され、次の未録音の曲から録音を開始します（「オートモード」選択時のみ）。
- スキャン/一時停止すると、録音を中止します。録音を再開するには、未録音のトラックを再生中に［録音/削除］を押してください。

■マニュアルモード（1曲のみ）

- CD録音モードを「オート」に切り替えると、次の曲から録音を開始します。
- CD録音モードを「シングル」に切り替えると、次の未録音の曲がトラック1のときのみ録音を開始します。

CD再生中に自動的に録音する

CDを再生すると、自動的にミュージックサーバーに録音されます。

1 **録音モードを「オート」にする**

→「CD録音モードを設定する」(69P)

メモ

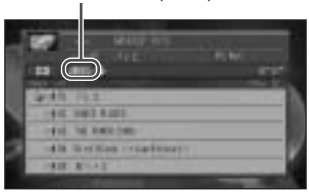
出荷時の録音モードは「オート」です。

2 **CDを再生する**

→「CDの聞きかた」(27P)

CDの録音が始まります。

録音中の表示(赤色)※



※再生されている曲がすでに録音済みでも、まだ録音されていない曲がある場合は、録音待機状態を示す青色になります。

メモ

- ソースをミュージックサーバーに切り替えても、録音中はミュージックサーバーの再生はできません。
- CD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。
- 2倍速録音中は、メッセージが表示されます。さらに、×2が表示されます。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク（2倍速）が表示されます。

録音を停止するには

［録音/削除］を押します。

メモ

2倍速録音中は、録音を解除された曲の始めに戻り、通常再生します。

CDを手動で録音する

CDの曲を、ボタンを操作してミュージックサーバーに録音します。

1 **録音モードを「マニュアル」にする**

→「CD録音モードを設定する」(69P)

メモ

出荷時の録音モードは「オート」です。

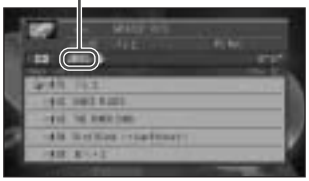
2 **録音したい曲を再生する**

→「CDの聞きかた」(27P)、「CDのいろいろな再生のしかた」(28P)

3 **[録音/削除] を押す**

再生中の曲は始めに戻って再生され、録音が始まります。
その曲の演奏が終了すると、録音は終了します。

録音中の表示(赤色)



メモ

- ソースをミュージックサーバーに切り替えても、録音中はミュージックサーバーの再生はできません。
- CD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。
- 2倍速録音中は、メッセージが表示されます。さらに、[redacted]が表示されます。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク[redacted]（2倍速[redacted]）が表示されます。

録音を停止するには

[録音/削除] を押します。

メモ

2倍速録音中は、録音を解除された曲の始めに戻り、通常再生します。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDを再生すると、1曲目だけが自動的にミュージックサーバーに録音されます。

1 **録音モードを「シングル」にする**

→「CD録音モードを設定する」(69P)

メモ

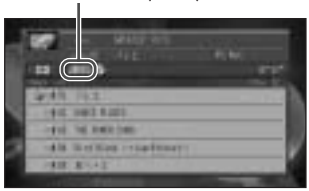
出荷時の録音モードは「オート」です。

2 **CDを再生する**

→「CDの聞きかた」(27P)

CDの録音が始まります。

録音中の表示(赤色)



メモ

- ソースをミュージックサーバーに切り替えても、録音中はミュージックサーバーの再生はできません。
- CD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。
- 2倍速録音中は、メッセージが表示されます。さらに、[redacted]が表示されます。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク[redacted]（2倍速[redacted]）が表示されます。

録音を停止するには

[録音/削除] を押します。

メモ

2倍速録音中は、録音を解除された曲の始めに戻り、通常再生します。

プレイリストの編集

プレイリストには、次の2種類があります。

オリジナルプレイリスト	録音時に自動的に作成される。プレイリスト名の頭に（「Original」の頭文字）が表示される。
ユーザープレイリスト	ユーザーが編集したプレイリスト。プレイリスト名の頭に（「User」の頭文字）が表示される。

プレイリストを作成する

ミュージックサーバーに録音された曲からお好みのプレイリスト（ユーザープレイリスト）を作成することができます。

メモ

- プレイリストは、999個まで作成できます。
- 1つのプレイリストには、99曲（トラック）まで登録できます。

1 ［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す

→ *「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）*

2 「新規プレイリスト登録」を選んで［AUDIO MENU］を押す



3 「新規トラック登録」を選んで［AUDIO MENU］を押す



4 登録したい曲の検索方法を選んで［AUDIO MENU］を押す

曲の検索方法には以下の種類があります。

- プレイリストから探す
- アーティストで探す
- ジャンルで探す
- 最近録音した曲から探す

選択した方法による検索項目のリストが表示されます。
「最近録音した曲から探す」を選んだ場合は、トラックリストが表示されます。手順6に進んでください。

メモ

PCカード内のMP3ファイルは選択できません。

5 登録したい曲が含まれる項目を選んで［AUDIO MENU］を押す

トラックリストが表示されます。

つづく→

6 **登録する曲を選んで［AUDIO MENU］を押し、ランプを点灯状態にする**

選択するとランプが点灯する



メモ

「トラック全選択」を選ぶと、表示されている曲がすべて選択されます。すべて選択されているときに選ぶと、選択を解除します。リストに100曲以上ある場合は、先頭から99曲まで選択されます。

7 **［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる**

プレイリストの情報を編集する

登録されているプレイリストの情報を編集します。

メモ

PCカード内のMP3ファイルは編集できません。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **編集したいプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す**

3 **「リスト情報」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

この後は編集する項目に応じて、それぞれの説明をお読みください。

タイトルやよみを変更する	*→下記*
アーティスト名を変更する	*→次ページ*
ジャンルを設定する	*→次ページ*
画像を設定する	*→76P*

■タイトルやよみを変更する

タイトルは表示や検索に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルは音源となったCDのタイトル表示に反映されます。

4 **「タイトル」または「よみ」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



▼

文字入力画面になります。文字を入力して「入力終了」を選ぶと、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。



文字の入力方法については、『ナビゲーションブック』、「文字の入力操作」を参照してください。

メモ

- 「タイトル」は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- 「よみ」は、ひらがな32文字まで入力できます。

5 ［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる

■アーティスト名を変更する

アーティスト名は検索に使用します。

4 「アーティスト」を選んで［AUDIO MENU］を押す



▼



手動で入力する場合

「マニュアル入力」を選び［AUDIO MENU］を押すと、文字入力画面になります。文字を入力して「入力終了」を選ぶと、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

文字の入力方法については、『ナビゲーションブック』、「文字の入力操作」を参照してください。

メモ

「アーティスト」は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

リストから選ぶ場合

「リスト選択」を選び［AUDIO MENU］を押すと、アーティストリスト画面になります。アーティストを選択して［AUDIO MENU］－「決定」－［AUDIO MENU］を押すと、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

メモ

「履歴から消去」を選んで［AUDIO MENU］を押すと、選択されているアーティストはリストから消去され、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。ただし、そのアーティストの曲が録音されている場合は消去できません。

5 ［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる

■ジャンルを設定する

ジャンルは検索に使用します。

4 「ジャンル」を選んで［AUDIO MENU］を押す



ジャンルリスト選択画面が表示されます。ジャンルを選んで［AUDIO MENU］を押すと、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。

5 ［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる

■画像を設定する

プレイリスト再生時にオーディオ画面の背景に画像を表示させることができます（プレイリスト画像リンク）。デジタルカメラなどで撮影した画像を使用することもできます。

メモ

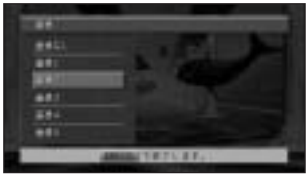
- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- 設定できる画像の形式は、デジタルカメラで対応している一般的なJPEG形式のみです。
- 半角で255文字（全角で127文字）以内のファイル名がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が200を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が200以下になるように、PCカード内の画像ファイルを削除してください。
- 画像ファイルのサイズは2048×1536ドットまで表示できます。
- PCカード内のフォルダ（ディレクトリ）は8階層（ルートディレクトリを含む）まで認識できます。
- プログレッシブJPEG形式の画像は使用できません。

4 「画像」を選んで［AUDIO MENU］を押す



▼

画像選択画面が表示されます。



メモ

PCカードをセットしている場合は、PCカード内のファイルもリストに表示されます。

5 リストから好みの画像を選んで［AUDIO MENU］を押す

画像の表示方法選択画面が表示されます。

6 画像の表示方法を選んで［AUDIO MENU］を押す

「中央」	画面の中央に画像を配置する
「繰り返し」	画面を埋めるように、画像を繰り返し並べて配置する

中央



繰り返し



7 ［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる

設定を削除するには

手順5で「画像なし」を選んで［BAND/ESC］を押します。

プレイリストの再生順番を変更する

メモ

- 通常の再生では、プレイリストの順番に繰り返し再生します。
- PCカード内のMP3ファイルの再生順番は変更できません。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **順番を変更したいプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す**

3 **「再生順変更」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **［▲］［▼］を押して、並べ替えたい位置に「挿入位置」カーソルを合わせて、［AUDIO MENU］を押す**



［▲］	「挿入位置」が上に移動する
［▼］	「挿入位置」が下に移動する

メモ

移動対象のプレイリストは青色で表示されます。

▼

プレイリストの画面に戻ります。

5 **［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる**

プレイリストを消去する

メモ

- プレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータも消去する
ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去し、トラックデータは消去しない

- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、**ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。**
- PCカードの内のMP3ファイルは消去できません。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **消去したいプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す**

つづく→

3 「消去」を選んで［AUDIO MENU］を押す



▼



4 ［AUDIO MENU］を押す

操作を中止するには
［BACK］を押して前の画面に戻ります。

再生しないプレイリストを設定する

特定のプレイリストの再生を禁止することができます（再生不許可）。

メモ

- 再生不許可に設定されたプレイリストは、再生時にスキップされます。
- 設定しようとするプレイリストが再生中のときは、再生を停止してください。
- 再生不許可に設定されたプレイリストには が表示されます。

1 ［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す
→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 再生しないプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す

3 「再生不許可」を選んで［AUDIO MENU］を押す



▼

選択されたプレイリストに が表示されます。



再生許可に戻すには
手順3で「再生許可」を選んで［AUDIO MENU］を押します。

プレイリストに曲を追加する

ユーザープレイリスト（プレイリスト名の頭に が付いているもの）に曲を追加できます。（オリジナルプレイリストには追加できません。）

1 ［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す
→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 曲を追加したいユーザープレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す

3 **「トラック選択」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **「新規トラック登録」を選んで［AUDIO MENU］を押す**

以降の操作は「プレイリストを作成する」（73P）の手順4～7の操作と同じです。

トラックの情報を編集する

登録されているトラックの情報を編集します。

メモ

- PCカード内のMP3ファイルは編集できません。
- PCカード内のMP3ファイルのID3 Tagを変更しても、トラック情報が更新されないことがあります。更新されないときは、PCカード内の該当するファイルをいったん消去して保存し直してください。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **編集したいトラックが登録されているプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す**

3 **「トラック選択」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **編集したいトラックを選んで［AUDIO MENU］を押す**

5 **「トラック情報」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



トラック詳細情報画面が表示されます。以降の操作は「プレイリストの情報を編集する」（74P）と同じです。編集する項目に応じて、それぞれの説明をお読みください。

タイトルやよみを変更する	*→74P*
アーティスト名を変更する	*→75P*
ジャンルを設定する	*→75P*
ヒットチャートリンク情報	*→次ページ*

曲の再生順番を変更する

ユーザープレイリスト（プレイリスト名の頭に U が付いているもの）内の曲の再生順番を変更することができます。（オリジナルプレイリストでは変更できません。）

メモ

- プレイリストの順番を変更することもできます。
  →「プレイリストの再生順番を変更する」（77P）
- PCカード内のMP3ファイルの曲順は変更できません。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **順番を変更したい曲が登録されているプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す**

3 **「トラック選択」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **順番を変更したい曲を選んで［AUDIO MENU］を押す**

5 **「再生順変更」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



6 **［▲］［▼］を押して、並び替えたい位置に「挿入位置」カーソルを合わせて、［AUDIO MENU］を押す**



［▲］「挿入位置」が上に移動する
［▼］「挿入位置」が下に移動する

メモ

移動対象のトラックは、青色で表示されます。

▼

トラックリストの画面に戻ります。

7 **［BAND/ESC］を押して、「ミュージックサーバー」メニューを閉じる**

ヒットチャートにリンクを付ける

ヒットチャートと曲のリンクは、その曲のタイトル情報取得時に行われます。ただし、発売直後のCDなどは、タイトル情報は取得できても、ヒットチャートリンク情報は取得できないことがあります。
ヒットチャートリンク情報が自動で取得できないときは、以下のようにします。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

2 **リンクを付けたいトラックが登録されているプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す**

3 **「トラック選択」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **リンクを付けたいトラックを選んで［AUDIO MENU］を押す**

5 **「トラック情報」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



6 **「ヒットチャートリンク情報」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



7 **［AUDIO MENU］を押す**

以降の操作手順は「タイトル情報を取得するには」（83P）と同じです。

メモ

- ヒットチャートリンク情報が取得できないこともあります。
- ヒットチャートリンク情報が取得済みのトラックでも、ヒットチャートとリンクしない場合があります。

曲を消去する

メモ

- プレイリストごと消去することもできます。
  →「プレイリストを消去する」（77P）
- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、**ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。**
- PCカード内のMP3ファイルは消去できません。

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す**

→「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）

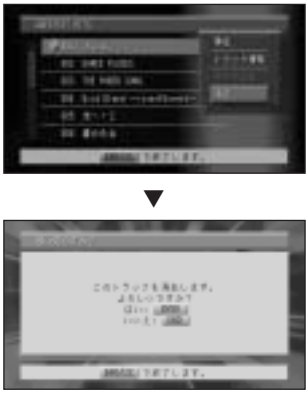
2 **消去したい曲が登録されているプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す**

3 **「トラック選択」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **消去したいトラックを選んで［AUDIO MENU］を押す**

5 **「消去」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



6 **［AUDIO MENU］を押す**

操作を中止するには

［BACK］を押して前の画面に戻ります。

タイトル情報を取得する

プレイリストのタイトル情報を、本機ハードディスク内またはインターネットのGracenote CDDBのデータベース※1、PCカード内のテキストファイル（マイデータベース）から取得することができます（タイトルサーチ）。
タイトル情報を取得することにより、ミュージックサーバーの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

■取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル

メモ

- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で探すには、本機に携帯電話が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。
- 通信で探すときに携帯電話が接続されていないと、「携帯の接続を確認してください。」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。
- 通信で探すときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「携帯電話が使用中です。」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。

※1 Gracenote is CDDB, Inc. d/b/a "Gracenote." CD-related data from Gracenote CDDB®, copyright 1999, 2000 Gracenote. Gracenote CDDB Client Software, copyright 1999, 2000 CDDB, Inc. U.S.特許番号 No.5,987,525; No.6,061,680; No.6,154,773他、特許発行済み/申請中。
CDDBはGracenoteの登録商標です。CDDB、the Gracenote logo、Gracenote CDDB Logo、Meta-Database、そしてthe Gracenote Logoは、Gracenoteの登録商標です。音楽認識技術とMRSは、Gracenoteのサービス商標です。
音楽認識技術とMeta-Database™は、GracenoteとThe Gracenote CDDB® Music Recognition Serviceが提供しています。Gracenoteは、音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。
更に詳しい情報は、以下のWWWサイトにてご確認いただけます。
http://www.gracenote.com

※Gracenote CDDBはパブリックなデータベースですので、本機内蔵のデータベース、インターネットのデータベースともに、データの内容を100%保証するものではありません。
※Gracenote CDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
※本商品を利用してのGracenote CDDBのインターネットのデータベースへのアクセスは、2005年3月までご利用できます。

■タイトル情報を取得するには

1 **［AUDIO MENU］－「ミュージックサーバー」－［AUDIO MENU］－「プレイリスト」－［AUDIO MENU］を押す**
→*「「ミュージックサーバー」メニューを開く」（61P）*

2 **情報を取得したいプレイリストを選んで［AUDIO MENU］を押す**



3 **「リスト情報」を選んで［AUDIO MENU］を押す**

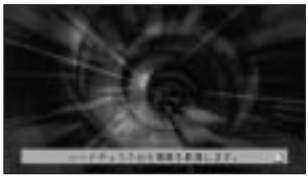


4 **「情報取得」を選んで［AUDIO MENU］を押す**

情報取得は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。



▼



ハードディスクから探す	本機内蔵のハードディスクに収録されているデータベースから情報を取得する
通信で探す	携帯電話を使った通信により、Gracenote CDDBのインターネットのデータベースから情報を取得する

メモ

本機内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面が表示されます。ここで該当のタイトル情報が見当たらない場合は、さらに「通信で探す」を選び通信で探すことができます。

5 **登録したいタイトルを選んで［AUDIO MENU］を押す**

「該当タイトルなし」を選ぶと、タイトルは登録されません。プレイリスト詳細情報画面から「タイトル」を選んで、好みのタイトルを入力してください。→*「プレイリストの情報を編集する」（74P）*

通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。失敗すると、「情報の取得に失敗しました。」のメッセージが表示されます。

メモ

- PCカード内にテキストファイル（マイデータベース）がある場合は、タイトル候補の選択画面から曲数が一致しているテキストファイルを選ぶことができます。テキストファイルのタイトルは頭にMY DBが付きます。
  テキストファイルの作成方法は、「テキストファイルの作成」（次ページ）を参照してください。
- タイトル候補は、PCカード内のテキストファイルの情報を含め、最大105タイトルを表示できます。

■テキストファイルの作成

タイトル情報は、本機内蔵のハードディスクまたは通信によって取得します。これらの方法に加えて、お客様がパソコンで作成したテキストファイルをPCカード経由でタイトル情報として使用することができます（マイデータベース）。

CDタイトル情報

テキストエディターを使用して、以下の形式でテキストを入力します。

#CD［TAB］曲数［TAB］タイトル［TAB］よみ［TAB］アーティスト［TAB］ジャンルコード［TAB］発売年［改行］



項目	入力形式
曲数	1～99
タイトル	半角で32文字、全角で16文字まで
よみ	全角ひらがなで32文字まで
アーティスト	半角で32文字、全角で16文字まで
ジャンルコード	1：その他、2：J-POP、3：ロック/ポップス、4：ジャズ、5：クラシック、6：ヒップホップ/ラップ、7：ブラック/ソウル、8：クラブ/ダンス、9：ブルース、10：レゲエ、11：テクノ、12：フュージョン、13：サウンドトラック、14：ワールド、15：演歌/民謡
発売年	西暦年の4桁（2003年の場合、「2003」）、または「0」（なし、または不明の場合）

メモ

- 「#CD」は必ず入力してください。
- ［TAB］では［TAB］キーを、［改行］では［ENTER］または［RETURN］キーを押してください。
- タイトル候補の選択画面にタイトル以外を表示させたい場合は、「発売年」と［改行］の間に［TAB］とテキスト（半角で32文字、全角で16文字まで）を入力してください。
- 曲数を正しく入力しないと、タイトル候補の選択画面に表示されません。
- 半角スペースを入力すると、その項目は削除されます。（タイトルは削除できません。）

CDトラック情報

テキストエディターを使用して、以下の形式でテキストを入力します。

#TRACK［TAB］トラック番号［TAB］タイトル［TAB］よみ［TAB］アーティスト［TAB］ジャンルコード［改行］



項目	入力形式
トラック番号	1～99
タイトル	半角で32文字、全角で16文字まで
よみ	全角で32文字まで
アーティスト	半角で32文字、全角で16文字まで

メモ

- 「#TRACK」は必ず入力してください。
- ［TAB］では［TAB］キーを、［改行］では［ENTER］または［RETURN］キーを押してください。
- 入力されていないトラック、項目があるときは、そのトラック、項目は更新されません。
- 半角スペースを入力すると、その項目は削除されます。（タイトルは削除できません。）

テキストファイルを保存する

入力したテキストを、「MyDB」の名称でPCカードに保存します。



テキストファイルをタイトルにする

テキストファイルの保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットし、タイトル情報の取得（→74P）を行います。タイトル候補の選択画面から曲数が一致しているテキストファイルを選ぶことができます。（テキストファイルのタイトルの頭に MY DB が付きます。）

TVモニターの設定

ディスプレイ設定を変更する

マルチ画面やピクチャーサイドピクチャーなどで、画面の分割表示に関する設定を変更することができます。

1 **各ソースの画面で［AUDIO MENU］を押す**

「オーディオメニュー」が表示されます。

2 **「システム設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



3 **「ディスプレイ設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す**



4 **［▲］［▼］を押して、変更する項目にカーソルを合わせる**

PinPの現在の設定内容で子画面（灰色）が表示されます。



5 **［◄］［►］を押して、設定を変更する**

「マルチ設定」

チャンネルリストの表示方法を設定します。

設定値	「TV+NAVI」（初期値）	中央にナビゲーション画面、周囲にテレビのマルチ画面が表示されます。
設定値	「TV」	テレビのマルチ画面が表示されます。
設定値	「OFF」	マルチ画面は表示されず、リストで表示されます。

「PsideP設定」

画面を左右2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示できるように設定します。

設定値	「ON」（初期値）	ピクチャーサイドピクチャー表示をします。
設定値	「OFF」	ピクチャーサイドピクチャー表示をしません。

「PinP設定」
ナビゲーション画面の中に子画面を表示できるように設定します。（ナビゲーション画面は子画面にできません。）

設定値	**「ON」**（初期値）	ピクチャーインピクチャー表示をします。
	「OFF」	ピクチャーインピクチャー表示をしません。

「PinPサイズ設定」
［PinP設定］が「ON」のとき、映像（DVD、ビデオ、テレビ）の子画面の大きさを設定します。音声のみのソース（CD、ミュージックサーバーなど）は「1/16」に固定です。

設定値	**「1/4」**	1/4の大きさで表示します。
	「1/9」（初期値）	1/9の大きさで表示します。
	「1/16」	1/16の大きさで表示します。

「PinPポジション設定」
［PinP設定］が「ON」のとき、子画面を表示する位置を設定します。

設定値	**右上**（初期値）	右上に表示します。
	右下	右下に表示します。
	左下	左下に表示します。
	左上	左上に表示します。

6 ［BAND/ESC］を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

画質を調整する

■黒の濃さやコントラストを調整する

映像の黒の濃さ、明暗（コントラスト）を調整します。

メモ

- 周囲が明るいとき（昼間☀黄）と暗いとき（夜間☽青）の調整値を個別に記憶させることができます。
- 外光センサーで周囲の明るさを感知し、明るいときと暗いときの設定を自動的に切り替えます。
- ナビゲーション、テレビ、ビデオ、DVDなどの映像ごとに、調整値を記憶させることができます。
- バックカメラはVTR1の設定として記憶されます。
- ピクチャーサイドピクチャーとピクチャーインピクチャーの画質は、ナビゲーション画面の設定が反映されます。
- マルチ画面はテレビの設定が反映されます。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの［WIDE］をしばらく押し続ける

「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

2 「黒の濃さ」または「コントラスト」を選ぶ



［▲］	上の項目を選ぶとき
［▼］	下の項目を選ぶとき

つづく→

3 [◄][►]を押して、黒の濃さまたはコントラストを調整する



TVモニター上部の外光センサーが、周囲の明るさを感知し、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

☽（青）：暗いとき（夜間）

☀（黄）：明るいとき（昼間）

ボタン	黒の濃さ	コントラスト
[◄]	薄くなる	白黒の差が小さくなる（暗くなる）
[►]	濃くなる	白黒の差が大きくなる（明るくなる）

メモ

－24～＋24の範囲で設定が可能です。

4 [BAND/ESC]を押して、「画質調整メニュー」を閉じる

■色の濃さや色あいを調整する

映像の色の濃さ、色あいを調整します。

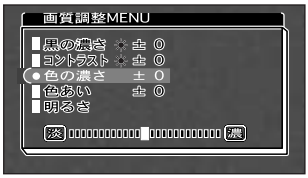
メモ

- テレビ、ビデオ、DVDなどの映像ごとに、調整値を記憶させることができます。
- バックカメラはVTR1の設定として記憶されます。
- ナビゲーションの映像は調整できません。

1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの［WIDE］をしばらく押し続ける

「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

2 「色の濃さ」または「色あい」を選ぶ



[▲]	上の項目を選ぶとき
[▼]	下の項目を選ぶとき

3 [◄][►]を押して、色の濃さまたは色あいを調整する



ボタン	色の濃さ	色あい
[◄]	薄くなる	赤が強くなる
[►]	濃くなる	緑が強くなる

メモ

－24～＋24の範囲で設定が可能です。

4 [BAND/ESC]を押して、「画質調整メニュー」を閉じる

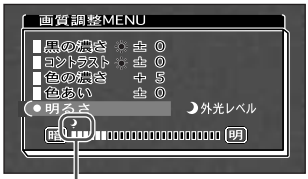
■液晶画面の明るさを調整する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見づらくなることがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します（3点式インテリジェントディマー）。その自動的に調整される明るさを設定しておくことができます。

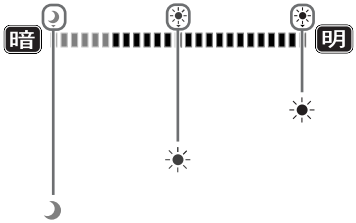
1 調整したい映像の表示画面で、TVモニターの［WIDE］をしばらく押し続ける

「画質調整メニュー」が表示されます。メニュー操作が続けて行われない場合は、約30秒後に元の画面に戻ります。

2 ［▼］を押して「明るさ」を選ぶ



TVモニター上部の外光センサーで周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ（外光レベル）をマークの色、形、および位置で表示します。



☀ (黄)：明るいとき (昼間)

☀ (赤)：中間の明るさのとき (夕方)

☽ (青)：暗いとき (夜間)

メモ

- 明るさを調整するときに基準となる外光レベルは、手順3で示すマークとその位置で表示されます。
- 黒の濃さやコントラストを調整するときのマークと異なる場合があります。

3 ［◀］［▶］を押して、明るさを調整する

［◀］	画面を暗くするとき
［▶］	画面を明るくするとき



レベルは調整している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。

この画面では、暗いとき（☽）の画面の明るさを調整しています。

メモ

次の外光レベルごとに調整でき、それぞれの設定値を記憶させることができます。

- 暗い（☽ 青）
- 中間（☀ 赤）
- 明るい（☀ 黄）

4 ［BAND/ESC］を押して、「画質調整メニュー」を閉じる

メモ

- 設定は、「画質調整メニュー」を閉じるときに記憶されます。「画質調整メニュー」を閉じる前に本機の電源をOFF（エンジンをOFF）にすると、設定の変更は無効になります。
- 「画質調整メニュー」を閉じた後にリセットボタンが押されたり、バッテリーが外されても、明るさの調整内容は記憶されています。
- 映像ごとに調整値を記憶させることはできません。

画面の表示モードを切り替える

■2画面表示させる

本機の画面の表示のしかたには、次の3種類があります。

1画面	通常の画面表示
ピクチャーサイドピクチャー	画面を2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示する
ピクチャーインピクチャー	ナビゲーション画面の中にソース画面を小さく表示する（子画面）

画面の表示モードを切り替えるには、次のようにします。

1 **リモコンの［DDM］を押す**

［DDM］を押すごとに、以下のように画面表示が切り替わります。

1画面



▼

ピクチャーサイドピクチャー



▼

ピクチャーインピクチャー



メモ

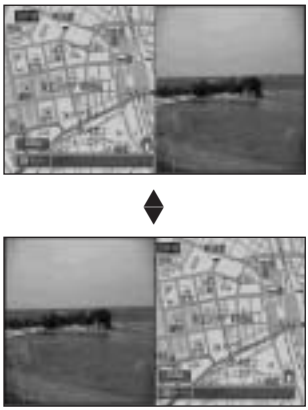
- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし（テレビとDVD、DVDとビデオなど）の2画面表示はできません。
- ナビゲーション画面のとき［DDM］を押すと、現在選ばれているソースとの2画面表示になります。
- ピクチャーインピクチャーで表示される子画面は、ワイドモードの設定にかかわらず、「ノーマル」（テレビアスペクトが4：3）で表示されます。
- ピクチャーインピクチャーの子画面の位置と大きさは変更できます。→*「ディスプレイ設定を変更する」（86P）*
- ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーサイドピクチャーまたはピクチャーインピクチャー表示中に［NAVI/AV］を押すと、ナビゲーション画面になります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。

■2画面表示の左右を入れ替える

ピクチャーサイドピクチャー表示のとき左右の画面を入れ替えるには、次のようにします。

1 **［DDM］を長めに押す**

［DDM］を押すごとに、左右の画面が入れ替わります。



■ワイド画面の表示方法を切り替える

テレビ、ビデオ、DVDの映像については、通常の画面表示の他に4種類のワイドモード（→次ページ）が用意されており、表示方法を切り替えることができます。

メモ

- 通常画面は縦横比4：3、ワイド画面は縦横比16：9です。
- テレビ、ビデオ、DVDの映像ごとに、設定を記憶させることができます。
- ナビゲーション画面やソースの壁紙の画像は、ワイドモードによる表示はできません。

1 **テレビ、ビデオ、DVDのいずれかの映像を1画面で表示させる**

→「2画面表示させる」（前ページ）

2 **TVモニターの［WIDE］を押す**



［WIDE］を押すごとに、ワイドモードが以下のように切り替わります。

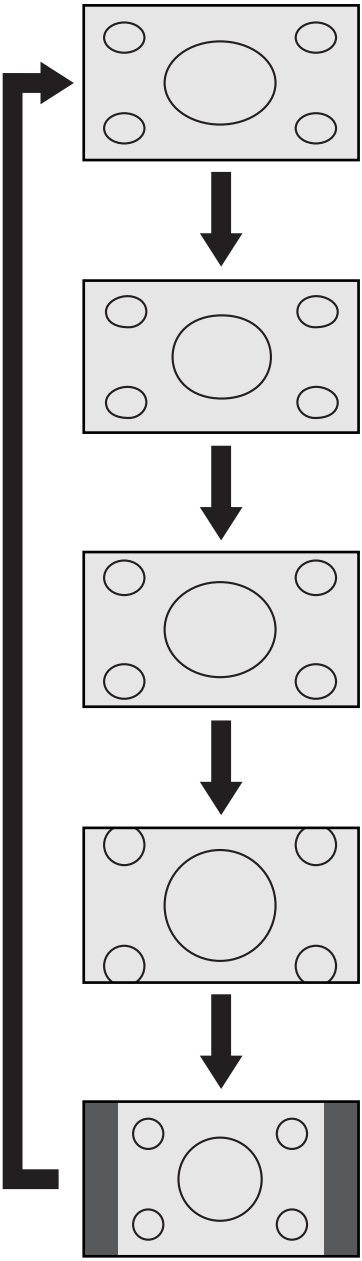
「FULL」（フル）→「JUST」（ジャスト）→「CINEMA」（シネマ）→「ZOOM」（ズーム）→「NORMAL」（ノーマル）→「FULL」

メモ

- 2画面で表示しているときは、ワイドモードの切り替えはできません。
- 通常のテレビ放送の番組で、映像の縦横比が異なるモード（「フル」、「ジャスト」、「シネマ」）を選ぶと、本来の映像とは異なって見えます。
- 「シネマ」、「ズーム」では、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

つづく→

ワイドモードの種類



フル
4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。

ジャスト
画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。

シネマ
フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。

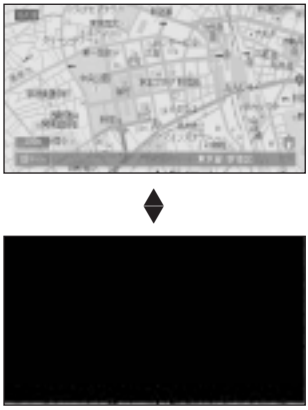
ズーム
4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶさって表示されるものに適しています。

ノーマル
4：3の映像がそのまま表示されます。通常のテレビの映像と同じです。

■画面を消す

音声は消さずに、画面だけを消すことができます。（モニターのバックライトをOFFにします。）

1 TVモニターの［BACKLIGHT/POWER］を押す



画面が消えます。
画面を表示させるには、もう一度［BACKLIGHT/POWER］を押します。

メモ

画面が消えている状態で電源を入れ直しても（エンジンをかけ直しても）、画面は消えた状態のままです。

音を調整する

音量に関する次の項目について、調整または設定することができます。

- 音量
- 内蔵スピーカーのON/OFF
- 消音レベルの設定
- FMトランスミッターのON/OFF
- FMトランスミッターのレベル設定

音量を調整する

1 **ソースの画面で、[VOLUME]を押して音量を調整する**

画面右上に音量レベルが0～30の範囲で、4秒間表示されます。



[VOL（＋側)]	音量を大きくするとき
[VOL（－側)]	音量を小さくするとき

メモ

リモコンで操作する場合は、リモコンの操作モードをテレビ操作モードに切り替えてください。

内蔵スピーカーの音声をON/OFFする

車内の会話などが聞き取りにくい場合などに、一時的に音声を消すことができます。

1 **リモコンのVOLUMEツマミを押し込む**

VOLUMEツマミを押すごとに、ソースの音声がON/OFFします。



ご注意

音声OFF中に、音量を調整しないでください。音声をONにしたときに、大音量が出力される恐れがあり危険です。

メモ

- リモコンの操作モードをナビゲーション操作モードまたはテレビ操作モードに切り替えてください。
- 出力されているソースの音声がOFFになります。
- VOLUMEツマミを押してもナビゲーションの音声案内は消えません。

消音レベルを設定する

音声案内、ハンズフリー音声、音声操作の割り込みがあった場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。

メモ

- 初期値は「ATT」です。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

1 ソースの画面で［AUDIO MENU］を押す

「オーディオメニュー」が表示されます。

2 「システム設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す



3 「消音レベル設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す



4 ［◀］［▶］を押して、好みの設定を選ぶ



［◀］［▶］を押すごとに、以下のように切り替わります。

「MUTE」→「ATT」←「NORMAL」

「ATT」	音量が約1/10になる
「NORMAL」	音量は変わらない
「MUTE」	音声が聞こえなくなる

メモ

- ここで設定した内蔵スピーカーの消音レベルは、ナビゲーション本体のオーディオミュートの内容で適用されます。FMトランスミッターまたは外部出力には適用されません。*ナビゲーション本体のオーディオミュートについては、ナビゲーション本体の『ナビゲーションブック』を参照してください。*
- 「オーディオメニュー」の設定中に音声案内の割り込みがあったときは、オーディオの音量は変わりません。
- 「オーディオメニュー」の設定中にハンズフリー音声の割り込みがあったときは、「オーディオメニュー」を終了して、それぞれの操作画面に切り替わります。

5 ［BAND/ESC］を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

音声をFM付きカーステレオで聞く

テレビ、ビデオ、DVD、CDなどの音声をFM電波で送信し、FM付きカーステレオで受信することによって、カーステレオのスピーカーで聞くことができます。

メモ

- 初期値は、「OFF」です。
- ナビゲーションの音声案内を聞くことはできません。
- ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

1 ソースの画面で［AUDIO MENU］を押す

2 「システム設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す

3 「FMトランスミッター設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す



「FMトランスミッター設定」画面が表示されます。

4 ［►］を押して「ON」にする



「OFF」にするには［◄］を押します。

5 ［▼］を押して、「周波数」にカーソルを合わせる

メモ

FMトランスミッターが「OFF」のときは、「周波数」は選択できません。

6 ［◄］［►］を押して、出力周波数を選ぶ



［◄］	周波数を下げるとき
［►］	周波数を上げるとき

メモ

周波数は、76.4～78.4MHzの中から、0.1MHzステップで選ぶことができます。

7 ［BAND/ESC］を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

8 カーステレオのソースをFMに切り替えて、手順6で選んだ周波数を受信する

本機の音声をカーステレオのスピーカーから聞けるようになります。

メモ

- 送信用アンテナの配置場所や、受信する側のラジオのアンテナによっては、ノイズが聞こえたり、受信感度が低くなる場合があります。
- FM放送と混信する場合は、他の周波数を選んでください。
- FMトランスミッターの実用到達距離は、約2mです。（法律により電波の強さが規制されています。）
- FMトランスミッターを使わないときは、必ず「OFF」にしてください。

FMトランスミッターのレベルを設定する

カーステレオのスピーカーで本機の音声を聞いて、FM放送と音量が違うと感じたときは、FMトランスミッターのレベルを調整して、FM放送の音量と合わせてください。

メモ

ナビゲーションの音声案内中は、「オーディオメニュー」は表示できません。

1 **ソースの画面で［AUDIO MENU］を押す**

2 **「システム設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す**

3 **「FMトランスミッター設定」を選び［AUDIO MENU］を押す**

「FMトランスミッター設定」画面が表示されます。

4 **［▼］を押して、［レベル］にカーソルを合わせる**

メモ

FMトランスミッターが「OFF」のときは、「レベル」は選択できません。

5 **［◀］［▶］を押して、レベルを調整する**



［◀］	レベルを下げるとき
［▶］	レベルを上げるとき

メモ

- FM－6～＋6の範囲で調整できます。
- FM放送の音が大きく聞こえるときは、レベルを上げてください。
- 本機の音が大きく聞こえたり、歪みを感じたときは、レベルを下げてください。

6 **［BAND/ESC］を押して、「オーディオメニュー」を閉じる**

音声で操作できる機能

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って操作できる、代表的な機能は次のとおりです。

DVD/CD/MP3ディスク	DVD/CD/MP3ディスクの切り替え トラックの切り替え フォルダの切り替え チャプターの切り替え タイトルの切り替え（DVD） トラック番号の指定（MP3ディスク）
ミュージックサーバー	ミュージックサーバーの切り替え プレイリストの切り替え トラックの切り替え プレイリスト名の指定 トラック名の指定 トラック番号の指定
テレビ・ビデオ	ソースの切り替え チャンネルの切り替え

メモ

- トラック名の指定は、再生中のプレイリストに含まれる曲のみ対象となります。
- PCカード内のMP3ファイルは、プレイリスト名の指定およびトラック名の指定はできません。
  詳しくは、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。

バックカメラを組み合わせる

車の後方の映像を画面に表示させることができます。シフトレバーを「R」（リバース）の位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

ご注意

シフトレバーを「R」（リバース）の位置にしたときにバックカメラ以外の映像が表示されると危険ですので、バックカメラを接続していないときは、VTR1を「Back Camera」に設定しないでください。

メモ

- バックカメラの映像は、本機のRCAビデオ入力（VTR1）に接続してください。*詳しくは『取付説明書』をご覧ください。*
- *バックカメラの接続のしかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。*
- **ナビゲーションの3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了していないときは、バックカメラには切り替わりません。**
- ナビゲーションの起動中は、バックカメラに切り替わらないことがあります。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。
  バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。
- バックカメラの映像はワイドモードの設定に関係なく、常に「フル」で表示されます。
- バックカメラの映像の画質調整値は、「VTR1」として記憶されます。

1 ソースの画面で［AUDIO MENU］を押す

「オーディオメニュー」が表示されます。

2 「システム設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す



3 「AV入力設定」を選んで［AUDIO MENU］を押す

4 ［▲］［▼］を押して、「VTR1」にカーソルを合わせる



5 ［◀］［▶］を押して、「Back Camera」にする

6 ［BAND/ESC］を押して、「オーディオメニュー」を閉じる

■バックカメラの映像を解除する

バックカメラの映像をナビゲーションの画像に切り替えるには、以下のようにします。

1 ［NAVI/AV］を押す

ナビゲーションの画像に切り替わります。

メモ

- バックカメラの映像を再度表示させるには、シフトレバーをいったん「R」（リバース）以外の位置にしてから、「R」に入れ直してください。
- ナビゲーション起動時は、解除できません。

リアモニターを組み合わせる

RCAリアモニター出力端子に、後部座席用のモニターを接続すると、本機の画面を後部座席でも楽しむことができます。

接続のしかたは、『取付説明書』を参照してください。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、現在選択されているソースの映像が表示されます。［NAVI/AV］を押しても、ナビゲーション画面は表示されません。
- リアモニターの画面を2画面表示に切り替えることはできません。
- リアモニターには、映像だけが表示されます。映像、音声、チャンネルなどの情報や、設定メニュー、ソースの壁紙は表示されません。
- リアモニターには、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく、映像が表示されます。したがって、走行中でもテレビやビデオ、DVDなどの映像を見ることができます。
- DVDビデオを選択している場合のみ、DVD画面専用の情報表示を見ることができます。

ご注意

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

メモ

リアモニターの映像出力はコンポジット信号です。接続されているモニターによっては、きれいに表示できない場合があります。

TVモニターの正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

●TVモニターは次の温度範囲内でお使いください。
使用温度範囲：－10℃～＋50℃
保存温度範囲：－20℃～＋80℃

●直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りTVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。また、本機を使用しないときは、本体にTVモニターを収納してください。

●TVモニターの液晶画面は、車内での視認性向上のために露出しています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。



●キズや汚れの原因になりますので、液晶画面には触らないでください。

■液晶画面について

●TVモニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは液晶TVモニター特有の現象で故障ではありません。

●寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間が経過すると正常な明るさに戻ります。

●TVモニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

■小型蛍光管について

液晶画面を明るくするために、TVモニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品であり、寿命があります。

●蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなることがあります。

●蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このようなときは、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

■お手入れについて

●画面に付いたほこりやTVモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。
●画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
●ぬれたぞうきんは、使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



メモ

映像を出力するために使われる信号形式には、RGB信号とコンポジット信号の2通りがあります。
コンポジット信号は、一般のビデオデッキなどのRCA映像出力に使われる信号です。
RGB信号は、パソコンの画面表示などに使われる信号です。本機では、ナビゲーションの映像をより鮮明に表示するために、RGB信号を使用しています。

MP3ファイルについて

MP3とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが適用されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページhttp://www.mp3licensing.comをご覧ください。

- ●営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上派放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットをはじめとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配付システムなど。

再生できるMP3ファイルについて

- ●本機はMP3ファイルのCD-ROM、またはCD-R/RWディスク、PCカードを再生することができます。ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクが再生可能です。

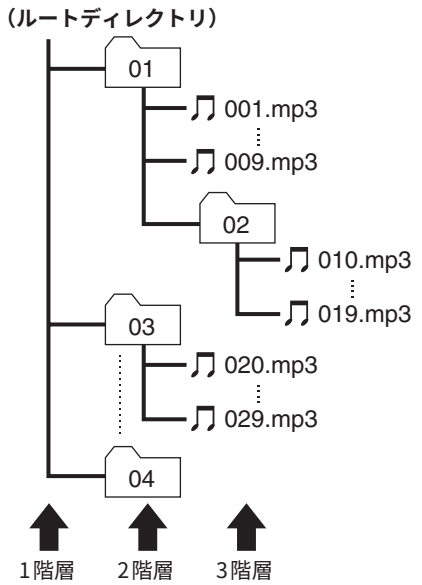
メモ

- MP3ファイルに名前を付けるときは、半角で拡張子（.mp3）を付けてください。例：01abcdef.mp3
- ファイル名は、拡張子（.mp3）を含めて半角で255文字（全角で127文字）以内にしてください。
- 本機は、拡張子（.mp3）が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けないでください。**

- ●ID3 TagのVer1.0およびVer.1.1、Ver.2.Xのalbum（ディスクタイトルとして表示）、track（トラックタイトルとして表示）、artist（アーティストとして表示）の表示に対応しています。
- ●44.1 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応しています。なお、再生可能なサンプリング周波数は44.1 kHzです。
- ●一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクおよびPCカードの使用を推奨します。
- ●パケットライトには対応していません。
- ●m3uのプレイリストには対応していません。
- ●MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマットには対応していません。
- ●VBR（可変ビットレート）のMP3ファイルには対応していません。

フォルダとMP3ファイルについて

MP3ファイルがCD-ROMに収録されているイメージを下図に示します。



メモ

- MP3ファイルは、前ページの図の例では、ファイル名に示される順番（001.mp3、･･･、009.mp3、･･･）で認識されます。
- MP3ファイルを含まないフォルダは認識されません。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみ再生できます。
- 8階層（ルートディレクトリ含む）までのMP3ファイルの再生に対応していますが、フォルダがたくさんあるディスクおよびPCカードは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ディスクに含まれるフォルダは256個まで、MP3ファイルは400個まで再生できます。
  PCカード内のMP3ファイルは99個まで再生できます。
- PCカード内のMP3ファイルは、各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
日本語（ja）	1001
英語（en）	0514
フランス語（fr）	0618
スペイン語（es）	0519
ドイツ語（de）	0405
イタリア語（it）	0920
中国語（zh）	2608
オランダ語（nl）	1412
ポルトガル語（pt）	1620
スウェーデン語（sv）	1922
ロシア語（ru）	1821
韓国語（ko）	1115
ギリシャ語（el）	0512
アファル語（aa）	0101
アブハジア語（ab）	0102
アフリカーンス語（af）	0106
アムハラ語（am）	0113
アラビア語（ar）	0118
アッサム語（as）	0119
アイマラ語（ay）	0125
アゼルバイジャン語（az）	0126
バシキール語（ba）	0201
ベラルーシ語（be）	0205
ブルガリア語（bg）	0207
ビハーリー語（bh）	0208
ビスラマ語（bi）	0209
ベンガル語（bn）	0214
チベット語（bo）	0215
ブルトン語（br）	0218
カタロニア語（ca）	0301
コルシカ語（co）	0315
チェコ語（cs）	0319
ウェールズ語（cy）	0325
デンマーク語（da）	0401
ブータン語（dz）	0426
エスペラント語（eo）	0515
エストニア語（et）	0520
バスク語（eu）	0521
ペルシア語（fa）	0601
フィンランド語（fi）	0609
フィジー語（fj）	0610
フェロー語（fo）	0615
フリジア語（fy）	0625
アイルランド語（ga）	0701
スコットランドゲール語（gd）	0704
ガルシア語（gl）	0712

言語名（言語コード）	入力コード
グアラニ語（gn）	0714
グジャラート語（gu）	0721
ハウサ語（ha）	0801
ヒンディー語（hi）	0809
クロアチア語（hr）	0818
ハンガリー語（hu）	0821
アルメニア語（hy）	0825
国際語（ia）	0901
interlingue（ie）	0905
イヌピアック語（ik）	0911
インドネシア語（in）	0914
アイスランド語（is）	0919
ヘブライ語（iw）	0923
イディッシュ語（ji）	1009
ジャワ語（jw）	1023
グルジア語（ka）	1101
カザフ語（kk）	1111
グリーンランド語（kl）	1112
カンボジア語（km）	1113
カンナダ語（kn）	1114
カシミール語（ks）	1119
クルド語（ku）	1121
キルギス語（ky）	1125
ラテン語（la）	1201
リンガラ語（ln）	1214
ラオス語（lo）	1215
リトアニア語（lt）	1220
ラトビア語（lv）	1222
マダガスカル語（mg）	1307
マオリ語（mi）	1309
マケドニア語（mk）	1311
マラヤーラム語（ml）	1312
モンゴル語（mn）	1314
モルダビア語（mo）	1315
マラータ語（mr）	1318
マライ語（ms）	1319
マルタ語（mt）	1320
ビルマ語（my）	1325
ナウル語（na）	1401
ネパール語（ne）	1405
ノルウェー語（no）	1415
プロバンス語（oc）	1503
オロモ語（om）	1513
オリヤー語（or）	1518
パンジャブ語（pa）	1601
ポーランド語（pl）	1612

言語名（言語コード）	入力コード
アフガニスタン語（ps）	1619
ケチュア語（qu）	1721
レートロマン語（rm）	1813
キルンディ語（rn）	1814
ローマ語（ro）	1815
キニヤルワンダ語（rw）	1823
サンスクリット語（sa）	1901
シンド語（sd）	1904
サンド語（sg）	1907
サルボアクロアチア語（sh）	1908
セイロン語（si）	1909
スロバック語（sk）	1911
スロベニア語（sl）	1912
サモア語（sm）	1913
ショナ語（sn）	1914
ソマリ語（so）	1915
アルバニア語（sq）	1917
セルビア語（sr）	1918
シスワティ語（ss）	1919
セストゥ語（st）	1920
スンダ語（su）	1921
スワヒリ語（sw）	1923
タミル語（ta）	2001
テルグ語（te）	2005
タジル語（tg）	2007
タイ語（th）	2008
チグリス語（ti）	2009
ツルキ語（tk）	2011
タガログ語（tl）	2012
セツワナ語（tn）	2014
トンガ語（to）	2015
トルコ語（tr）	2018
ツォンガ語（ts）	2019
タタール語（tt）	2020
トウィ語（tw）	2023
ウクライナ語（uk）	2111
ウルドゥー語（ur）	2118
ウズベク語（uz）	2126
ベトナム語（vi）	2209
ボラピュク語（vo）	2215
ウォルフ語（wo）	2315
コーサ語（xh）	2408
ユルバ語（yo）	2515
ズールー語（zu）	2621

DVD用語の解説

テレビアスペクト
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニター4：3、ワイドモニター16：9の比率です。

視聴制限（パレンタルロック）
暴力シーンなどを含むDVDには、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクに、視聴制限レベルを設定して、再生できなくしたり、過激なシーンを飛ばして再生することができます。

タイトル
DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記憶することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記憶されている場合は、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられており、タイトルサーチなどの操作をすることができます。

チャプター
DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。チャプターが記憶されているディスクでは、チャプターサーチなどの操作をすることができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。DVDには、同時に複数台のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、見る側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声
DVDには、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります（最大8言語）。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕（サブタイトル）
映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記憶することができます。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

リージョン番号
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョン番号）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は、再生できません。本機のリージョン番号は、“ 2 ” です。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

ドルビーデジタルを楽しむには、別売の光デジタル端子変換コネクタ「CD-DD25」を使用して、ドルビーデジタル対応アンプの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

DTS
Digital Theater Systemsの略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。

DTS音声付きディスクを楽しむには、別売の光デジタル端子変換コネクタ「CD-DD25」を使用して、DTS対応アンプやデコーダーなどの光デジタル入力端子を接続する必要があります。

MP3用語の解説

パケットライト
フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート
1秒当たりの情報量を表し、単位はbps（bit per second）です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式（ATRAC3など）での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。（MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。）

マルチセッション
マルチセッションは、データの追記ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

ID3 Tag
曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトウェアを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット
CD-ROMのファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。
レベル1：
ファイル名は、8.3形式（半角英大文字と半角数字、"_"で名前は8文字以下、拡張子は3文字以下）で、各フォルダの階層は8つ以下
レベル2：
ファイル名は、最大31文字（区切り文字、"."と拡張子を含む）で、各フォルダの階層は8つ以下

拡張フォーマット
Joliet：
ファイル名は、最大で64文字
Romeo：
ファイル名は、最大で128文字

m3u
プレイリストファイルの拡張子（.m3u）で、「WINAMP」というソフトウェアで作成したプレイリストに付きます。

MP3（エムピースリー）
「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

VBR（ブイビーアール）
「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

故障かなと思ったら

故障かなと思ったら
修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは
本機をリセットしてください。
→『スタートブック』、「リセットのしかた」

それでも直らないときは
『スタートブック』のお客様登録カードとアフターサービスについての項目をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 →『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』、「リセットのしかた」
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	電池の（＋）と（－）の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。 →『スタートブック』、「リモコンの準備と使いかた」
	リモコンを、足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。→『スタートブック』、「リモコンの準備と使いかた」
	リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。→『スタートブック』、「リモコンの準備と使いかた」
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。 →『スタートブック』、「リモコンの準備と使いかた」

共通項目（つづき）

症状	原因	処置
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り替えてください。→『スタートブック』、「リモコンの準備と使いかた」
	リモコン設定スイッチが間違っている。	リモコン設定スイッチを正しく切り替えてください。→『スタートブック』、「リモコンの準備と使いかた」
再生できない	ディスクによっては、禁止している操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →「再生できるディスクの種類」（10P）
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。
音が出ない。	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
内蔵スピーカーからテレビ、ビデオなどの音が出ない。 音が小さい。	内蔵スピーカーのソース音声出力がOFFに設定されている。	内蔵スピーカーから出力されるように設定してください。→「内蔵スピーカーの音声をON/OFFする」（94P）
	内蔵スピーカーの音量を下げている。	内蔵スピーカーの音量を上げてください。→「音量を調整する」（94P）
カーステレオのスピーカーから音が出ない。 音が小さい。	カーステレオの音量を下げている。	カーステレオの音量を上げてください。
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。
	FMトランスミッターの設定がOFFになっている。	設定を切り替えてください。 →「音声をFM付きカーステレオで聞く」（96P）
	FM付きカーステレオの受信周波数が合っていない。	本機の送信周波数と、FM付きカーステレオの受信周波数を合わせてください。→FM付きカーステレオの説明書
音や映像がとぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。 →『取付説明書』

共通項目（つづき）

症状	原因	処置
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。→『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
画面に何も表示されない。	TVモニターのバックライトがOFFになっている。	モニターのバックライトをONにしてください。→「画面を消す」（93P）
TVモニターにナビゲーションの画像が映らない。	TVモニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	TVモニターをナビゲーション画面に切り替えてください。→「画面の切り替えかた」（16P）
	ナビゲーション本体およびテレビモニターの電源が入っていない。	TVモニターの電源を入れてください。
		正しく確実に接続されているかどうか確認してください。→『取付説明書』
バックカメラに切り替わらない。	初期学習が終了していない。	初期学習が終了するまでしばらく走行してください。
	バック信号が接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。→『取付説明書』
	「AV入力設定」を「Back Camera」に設定していない。	「AV入力設定」を「Back Camera」に設定してください。→「バックカメラを組み合わせる」（99P）

モニター

症状	原因	処置
画質調整ができない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。→『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
映像が明るい、または暗い。	「黒の濃さ」または「コントラスト」の調整が適切でない。	「黒の濃さ」または「コントラスト」を調整してください。→「黒の濃さやコントラストを調整する」（87P）

モニター（つづき）

症状	原因	処置
映像の色が薄い、または濃い。	「色の濃さ」または「色あい」の調整が適切でない。	「色の濃さ」または「色あい」を調整してください。→*「色の濃さや色あいを調整する」（88P）*
映像の色あいがおかしい。		
液晶画面が暗い。	「明るさ」の調整が適切でない。	「明るさ」を調整してください。 →*「液晶画面の明るさを調整する」（89P）*
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	―
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	―

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	［NAVI/AV］で画面を切り替えてください。
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。 →*「レベルを変更する」（56P）*
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 →*「レベルを変更する」（56P）*
	暗証番号を忘れてしまった。	［#/変換］（クリアー）を10回押し、暗証番号を解除します。 →*「暗証番号を忘れたときは」（56P）*

DVD（つづき）

症状	原因	処置
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。（ディスクによって入っている場合があります。）	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。（故障ではありません。）
⃠（禁止マーク）が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	［自宅］（■）を押してから、もう一度再生してください。

テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。→*「テレビの見かた」（18P）*
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。→*「テレビの見かた」（18P）*
	周囲に障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音も少なくなります。
	アンテナ線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。→*『取付説明書』*
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→*「テレビの見かた」（18P）*

テレビ（つづき）

症状	原因	処置
ソースプレートが消えない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』

CD/MP3ディスク

症状	原因	処置
再生できない。	2倍速で録音している。	録音を停止し、録音速度を等倍速録音にしてください。 →「録音を停止するには」（71P） →「CDの録音速度を設定する」（70P）
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。
CD再生中に、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。症状が改善されれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	CDの曇り、またはCDに水滴が付いている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。

MP3ファイル

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
MP3ファイルを再生できない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
MP3ファイルを再生できない。	256kbpsを超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが256kbps以下で記録されたMP3ファイルにしてください。

MP3ファイル（つづき）

症状	原因	処置
MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。）
聞きたいMP3ファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ミュージックサーバー

症状	原因	処置
プレイリストが再生できない。	プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り替えてください。 →*「再生しないプレイリストを設定する」(78P)*
	ポーズ(一時停止)がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 →*「再生を一時停止する」(64P)*
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 →*「CD録音の制限について」(70P)*
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	電話が接続されていない。	電話の接続を確認してください。
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

共通項目

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』、「リセットのしかた」
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。→『取付説明書』

DVD/CD/MP3ディスク

メッセージ（エラー番号）	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
再生ができません。 ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』、「ディスクの正しい使いかた」
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスクの種類」（10P）
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。

DVD/CD/MP3ディスク（つづき）

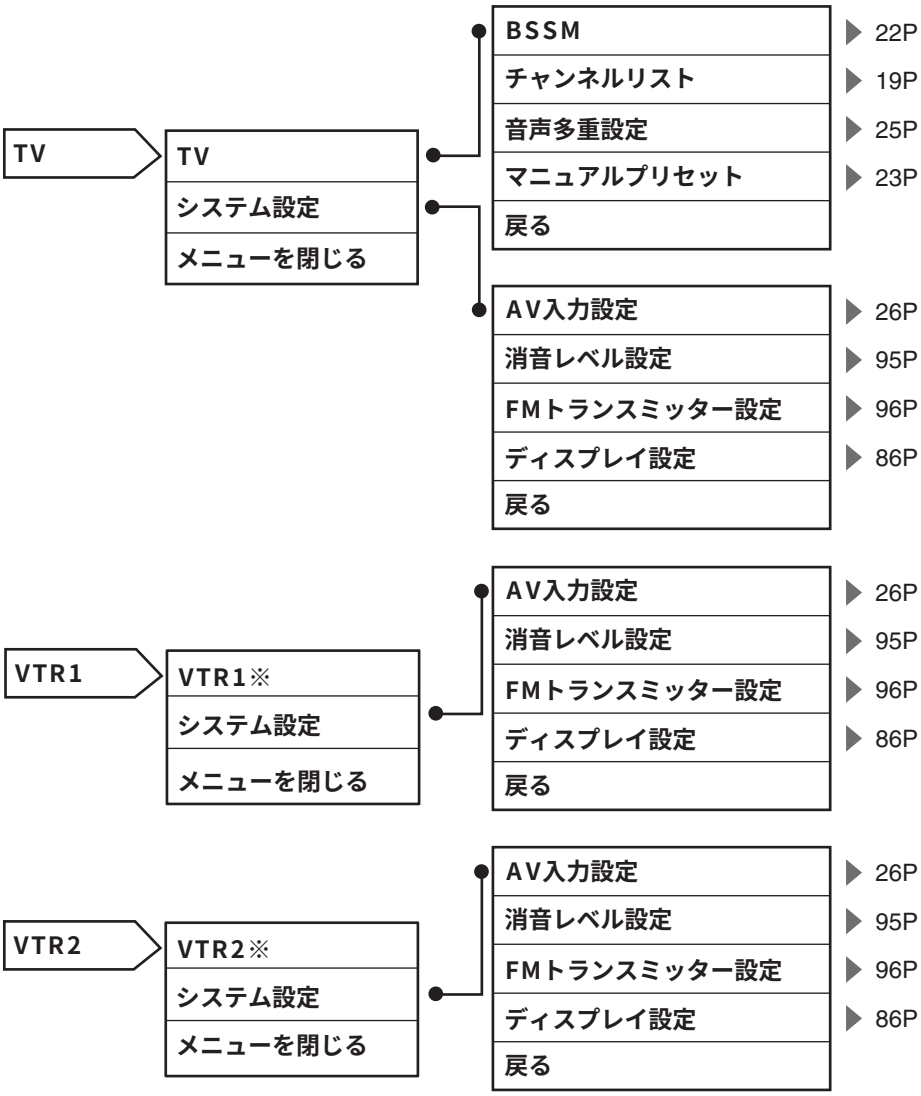
メッセージ（エラー番号）	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →*「再生できるディスクの種類」（10P）*
高温、または低温のため、DVD（CD）が再生できません。 ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →*『取付説明書』*

ミュージックサーバー

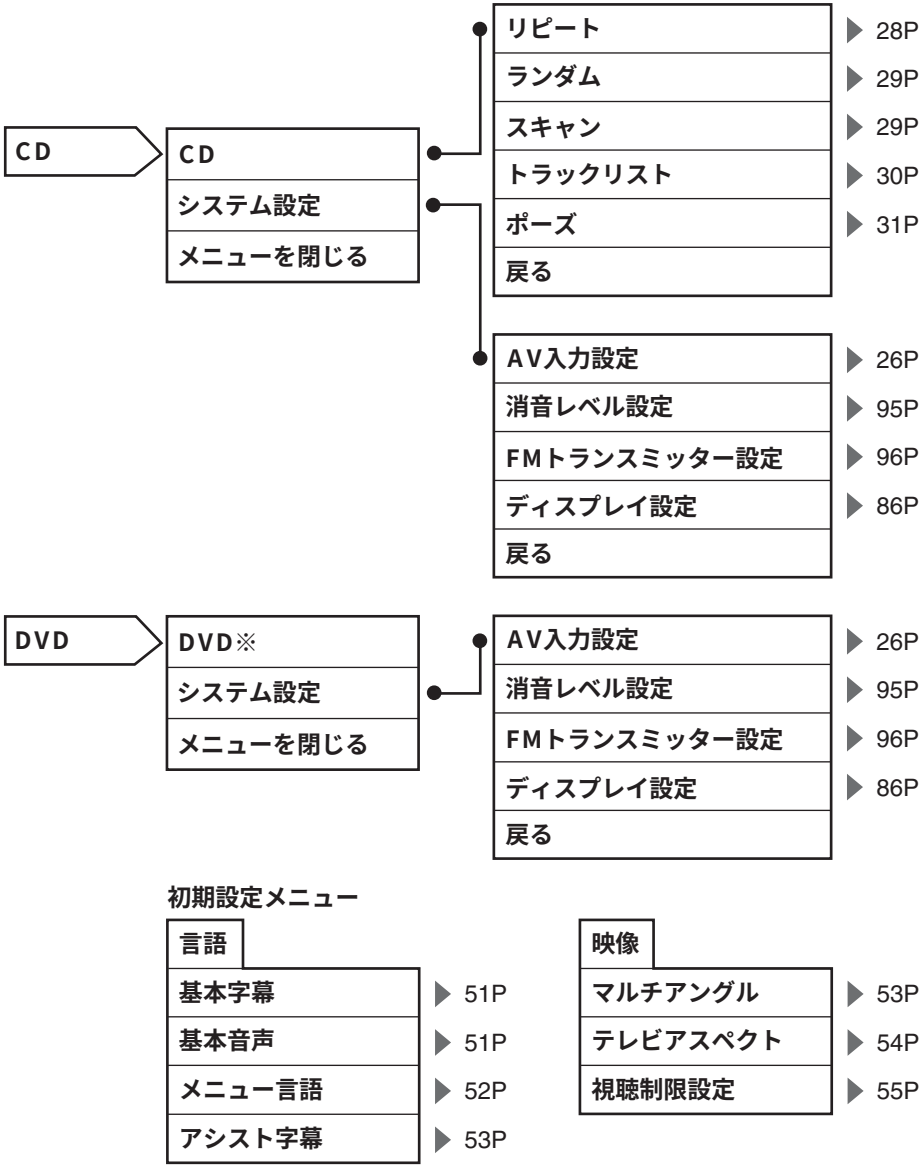
メッセージ（エラー番号）	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 →*「プレイリストを消去する」(77P)*、*「曲を消去する」(81P)*
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーのデータ転送に失敗しました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	録音・再生プログラムに異常がある。	販売店またはサービスステーションにご相談ください。

索引

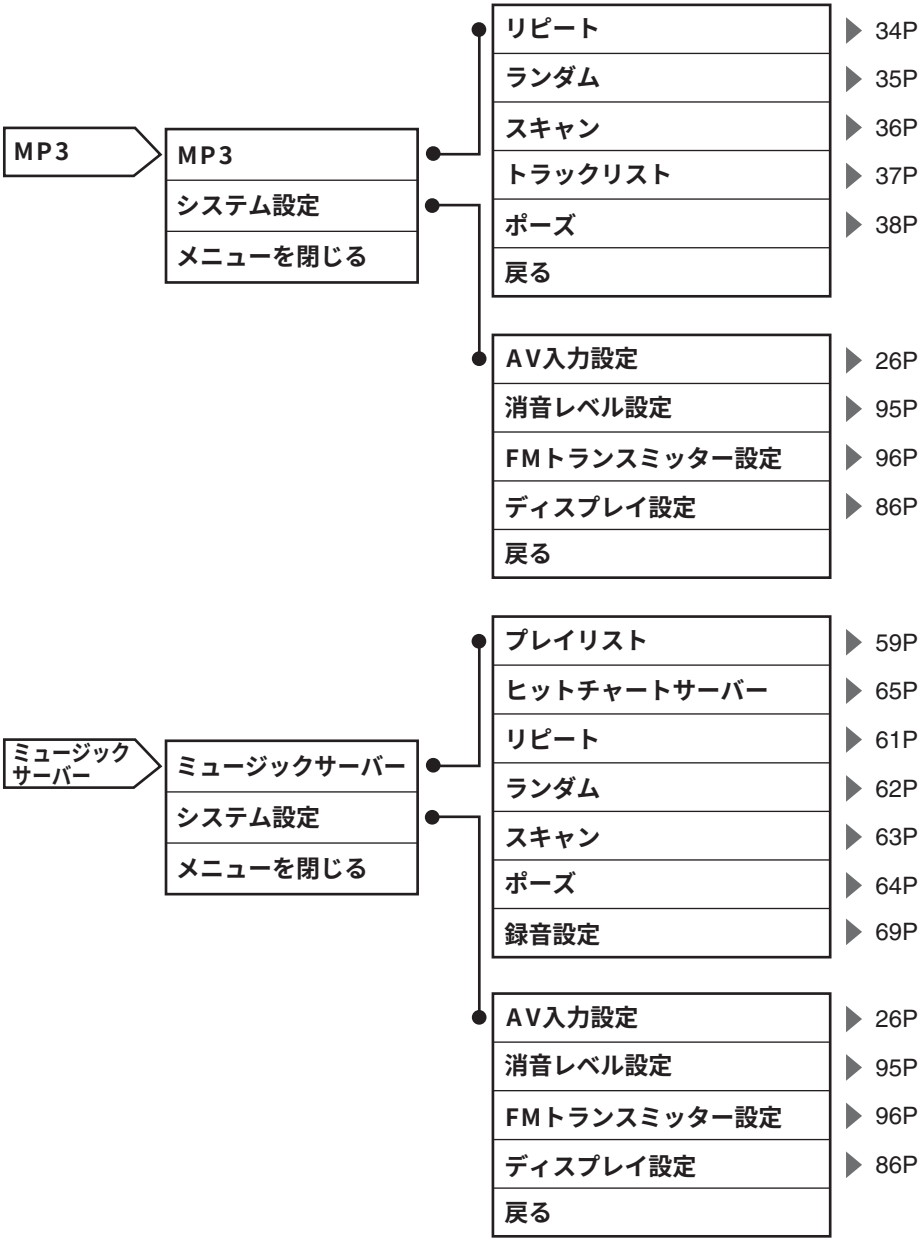
メニュー索引



※メニューを開くことはできません。



※このメニューを開くことはできません。
DVDの機能は、リモコンで操作してください。


MP3
MP3
システム設定
メニューを閉じる
リピート 34P
ランダム 35P
スキャン 36P
トラックリスト 37P
ポーズ 38P
戻る
AV入力設定 26P
消音レベル設定 95P
FMトランスミッター設定 96P
ディスプレイ設定 86P
戻る
ミュージック サーバー
ミュージックサーバー
システム設定
メニューを閉じる
プレイリスト 59P
ヒットチャートサーバー 65P
リピート 61P
ランダム 62P
スキャン 63P
ポーズ 64P
録音設定 69P
AV入力設定 26P
消音レベル設定 95P
FMトランスミッター設定 96P
ディスプレイ設定 86P
戻る

用語索引

五十音順

あ行

アッテネーター 109
明るさ（液晶画面の） 89
アシスト字幕 53
アーティスト名 75
アングル 45
　切り替える 45, 49
アングル選択マーク 53
暗証番号 55, 56, 111
一時停止
　ミュージックサーバー 64
　CD 31
　MP3ディスク 38
色あい 88, 110
色の濃さ 88, 110
エラーメッセージ 115
エリアプリセットチャンネル 19
オート/シングルモード 71
音飛び 70
オリジナルプレイリスト 57, 73
音声
　切り替える 44
音声言語 51
音声多重放送 25
音声認識コントローラー 98
音量 94

か行

外光レベル 89
画質
　調整する 87
画面を消す 93
画面の縦横比 54
カラオケディスク 13
基本音声 51
基本字幕 51
切り替える
　音声、字幕、アングル 49
　画面 16
　ソース 17
禁止マーク 12
黒の濃さ 87, 110
言語コード表 105
言語のコード入力画面 51, 52
コマ送り再生 43
コンディションメモリー 46
コントラスト 87, 110

さ行

再生する
　ミュージックサーバー 58
　CD 27
　DVD 40
　MP3ディスク 32
再生できるディスク 10
再生不許可 78
サブタイトル 106
視聴制限 55, 106, 111
視聴制限レベル
　設定する 55
　変更する 56
自動選局（テレビ） 18
シネマ 92
字幕 45
　切り替える 45, 49
字幕言語 51
ジャスト 92
ジャンル（プレイリスト） 75
終了する
　ミュージックサーバー 59
　CD 27
　DVD 40
　MP3ディスク 33
主音声 25
手動選局（テレビ） 18
消音レベル 95
情報画面 47

初期設定（DVD） 50
初期設定メニュー 50
新規トラック登録 73
新規プレイリスト登録 73
スキャン再生
　ミュージックサーバー 63
　CD 29
　MP3ディスク 36
ズーム 92
スロー再生 44
静止画再生 43
操作ボタン対応表 9
ソース 17
　切り替える 17
　OFFにする 17
ソース画面 16
ソースプレート 17

た行

タイトル（プレイリスト） 74
タイトル（DVD） 13, 106
　指定する 47
　直接選ぶ 41
タイトルサーチ 82
タイトル情報（プレイリスト） 82
　取得する 83
ダイナミックレンジコントロール 46
タイムサーチ 48
ダイレクトサーチ 41
チャート情報画面 68
チャプター 13, 106
　指定する 47
　進める/戻す 41
　直接選ぶ 41
チャンネル（テレビ） 18
　自動的に記憶させる 22
　手動で記憶させる 23
　呼び出す 19
チャンネルリスト 20
停止する
　DVD 42
ディスククローズ 11
ディスク情報画面 68
ディスプレイ設定 86
テキストファイル 84
テレビ
　見る 18
テレビアスペクト 54, 106
電源
　入れる・切る 15
等倍速 70
トラック 13
トラックタイトルリスト
　CD 30
　MP3ディスク 37
ドルビーデジタル 106

な行

内蔵スピーカー 109
内蔵スピーカーの音声 94
ナビゲーション画面 16
ノーマル 92

は行

バックカメラ 99
パケットライト 103, 107
早送り/早戻し（DVD） 42
パレンタルロック 55, 106
パンスキャン 54
バンド（テレビ） 18
ピクチャーインピクチャー 87, 90
ピクチャーサイドピクチャー 86, 90
ヒットチャート 65
　最新のヒットチャート 67
　リンクを付ける 80
ヒットチャート再生画面 67
ヒットチャートプレイ 65
ビットレート 107
ビデオ 26
ビデオフォーマット 10, 11
ビデオモード 10, 11
ビデオレコーディングフォーマット 10
ヒューズ 108
ファイナライズ 11, 113
フォルダ 104
副音声 25

は行(つづき)

プリセットチャンネル
呼び出す 20
プリセットチューニング 19
フル 92
プレイリスト 58, 59
画像を設定 76
曲の再生順番を変更 79
曲を消去 81
曲を追加 78
再生しないプレイリスト 78
再生順番を変更 77
作成 73
ジャンルを設定 75
消去 77
情報を編集 74
タイトル情報を取得 82
トラックの情報を編集 79
編集 73
プレイリスト画像リンク 76
編集
プレイリスト 73
ポーズ
ミュージックサーバー 64
CD 31
MP3ディスク 38

ま行

マイデータベース 82, 84
マニュアルプリセット 23
マニュアルモード 71
マルチアングル 45, 49, 53, 106
マルチ音声 44, 49, 51, 106
マルチ画面 20, 23, 86
マルチ字幕 45, 49, 51, 106
マルチセッション 107
マルチ設定 86
ミュージックサーバー 14, 57
録音する 69
録音についてのご注意 14, 69
「ミュージックサーバー」メニュー 61
メニュー
初期設定メニュー 50
「ミュージックサーバー」メニュー 61
「CD」メニュー 28
「MP3」メニュー 34
「TV」メニュー 22
メニュー画面（DVD） 41
メニュー言語 52
メニュー索引 117

や行

ユーザープレイリスト 57, 73
よみ（プレイリスト） 74

ら行

ランダム再生
ミュージックサーバー 62
CD 29
MP3ディスク 35
リアモニター 54, 100
リージョン番号 11, 12, 106, 111
リスト画面 21, 24
リスト情報 74
リセットボタン 108
リピート再生
範囲を設定（DVD） 49
ミュージックサーバー 61
CD 28
MP3ディスク 34
リモコンの各ボタンの表記 7, 28
レターボックス 54
連続複製防止システム 57, 70
録音速度 70
録音（ミュージックサーバー） 69
CDの1曲目だけを録音 72
CDを手動で録音 72

わ行

ワイド画面 91

数字・アルファベット順

数字

16:9 54
2画面表示 90
2倍速 70
3点式インテリジェントディマー 89
4:3 91

A

ALL RANDOM 63

B

BSSM 22

C

CD 13, 27
CD-Extra 10
CD-TEXT 10
CD-RWディスク 10
CDタイトル情報 84
CDトラック情報 84
「CD」メニュー 28
CD録音の制限 70
CD録音モード 69
CHART RANDOM 63
CHART REPEAT 62

D

DDCD 11
DISC RANDOM 35
DRC 46
DTS 106
DTS音声 44
DVD 39, 40
　停止 42
　早送り/早戻し 42
　メニュー画面 41
DVD-ROM 11
DVD-R/RWディスク 10
DVDオーディオ 11
DVDビデオ 13

F

FM付きカーステレオ 96
FMトランスミッターのレベル 97
FOLDER RANDOM 35
FOLDER REPEAT 34
FOLDER SCAN 36

G

Gracenote CDDB 82

I

ID3 Tag 32, 59, 107
ISO9660フォーマット 107

J

JPEG形式 76

M

m3u 103, 107
MP3 107
MP3i 103
MP3ディスク 32
MP3ファイル 32, 103
「MP3」メニュー 34

N

NTSC 10

P

PAL 111
PCカード 58, 76, 82, 103
PinP設定 87
PinPサイズ設定 87
PinPポジション設定 87
PLAYLIST RANDOM 63
PLAYLIST REPEAT 62
PLAYLIST SCAN 64
PsideP設定 86

S

SSMS 57, 70

T

TRACK REPEAT 28, 34, 62
TRACK SCAN 30, 36, 64
TVプリセットチャンネル 19
「TV」メニュー 22
TVモニター
　設定 86
　正しい使いかた 101

V

VBR 103, 107
VRモード 10
VTR 26

この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

ご購入後の製品の修理・取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください

●修理のご依頼は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』の項目をご確認のうえ、お買い求めの販売店へご依頼ください。
●取り付け・組み合わせなどのお問い合わせにつきましても、お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

〈下記窓口へのお問い合わせ時のご注意〉
市外局番「0070」で始まるフリーフォンおよび「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。また、一般電話は携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめご了承ください。

〈安全上のご注意〉
携帯電話などの走行中の使用などの禁止に関する規定が、改正道路交通法（法第71条第5号の5）にて施行されています。自動車または原動機付自転車（原付）からの、携帯電話などによる発信・応答・通話は、安全な場所に止めてからご利用ください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）
〈受付〉 月曜～金曜 9：30～17：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口 ： **0070-800-8181-11**
03-5496-8016（一般電話）
カタログのご請求窓口 ： **0070-800-8181-33**
ファックス ： **03-3490-5718**
パイオニアホームページでのご案内
商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 *http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html*
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 *http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入に関するご相談については、部品受注センターにご相談ください。

● **部品受注センター**（フリーダイヤル）
〈受付〉 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 ： **0120-5-81095**
0538-43-1161（一般電話）
ファックス ： **0120-5-81096**

ご贈答品などの修理についてのご相談窓口

修理のお問い合わせは、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』の項目をご確認のうえお問い合わせください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターにご相談ください。

● **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）（フリーダイヤル）
〈受付〉 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 ： **0120-5-81028**（ゴーパイオニア）
03-5496-2023（一般電話）
ファックス ： **0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）
〈受付〉 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

電話 ： **098-879-1910**（一般電話）
ファックス ： **098-879-1352**

パイオニア株式会社
〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。
© パイオニア株式会社 2003
< KKNEF/03D00001 > < CRA3472-A >